

「神は、実に、そのひとり子（キリスト）をお与えに
なったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、
ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」

(ヨハネ3:16)

ハレルヤ！ 皆さん、お元気ですか。チア・マガジン35号が完成しました。心を込めて、お届けしますね。今シーズンも打率2位だった「阪神・タイガースのマット・マートン選手」インタビューや、「山口つよし副大臣らとホームスクーラーたちとのミーティング」、「東日本大震災特集2」また、白馬セミナーを軸にして、聖書に立つ教育への大切な情報が満載です。ぜひ、お読みください。

祈っていただきました「第1回チア・オリンピック」、「第6回チア・東北サポート」共に神さまの恵みと皆さんの応援の中、とても感謝な中で終わることができました。お礼申し上げます。

現在、間近になりました白馬セミナーに向けて、準備の真っ最中です。今年の白馬セミナーも、神さまのあわれみの中で、一層、喜ばれるものとなり、参加者の皆さんに祝福をもたせませう、お祈りください。

チア・にっぽん代表 稲葉 寛夫

《今月の巻頭言》

- 1 第1回チア・オリンピック ……………P1~4
2 阪神マット・マートン選手取材……………P4

- 3 サポート・スクール親子セミナー……………P5
4 第6回東北サポート、33トンの泥かきほか……………P5
5 第5回東北サポート……………P6

第1回チア・オリンピック（東京・台東
リバーサイドスポーツセンター陸上競技場）
楽しく、ひたむきに！

190名の皆さんが、参加してくださった、第1回チア・オリンピック（東京・台東リバーサイドスポーツセンター陸上競技場）、とにかく楽しく、みんなひたむきで、感動に包まれてしまいました。

1才から年齢グループ別に走った25メートル、50メートル、100メートル走。中高生や大人の100メートル走も、本格的で、「30年ぶりに走った！」とのコメント多数。8才から59才まで、『男女混成31名が完走した1500メートル走』はゴール後、多くのランナーが倒れ込む、感動的な激走、そして全員、完走しました。『150名での綱引き』は、1勝1敗での第3試合は決着がつかず、長時間の耐久レースとなり、最後は、両チーム、何十人も、グラウンドの芝生にしばらく大の字になるほど、全力を尽くしました。とにかく、楽しく、真摯に努力する喜びを体験する、意義あることが許された！と思い、ただただ、神さまに感謝しました（参加者の声は24ページ、グラビアと詳細は、マガジン50ページ、当日の競技別トップ10リストや写真アルバムはチア・ホームページ（www.cheajapan.com）をご覧ください）。



阪神タイガース・マット・マートン選手（セリーグ打率2位、年間ヒット数記録保持者）。チアの皆さんへ応援インタビュー！（ヤクルト3連戦・神宮球場にて）

プロセスも大事 — 心技体を強めて、
家族で、さらに神さまに仕える！

オリンピックを、一つの目標にして、準備をもって臨んだ参加者が多かったです。そうしたプロセスも含め、『親子で、精神力、技術、体力、「心技体」を強め、聖霊の力をもらい、神さまにますます力強

く、仕えていくことができる！』、そのことを改めて確信しました。

今回、特徴として、親や祖父母の皆さんが、ほぼ全種目に登場、「運動会は、普通、大人が参加できるのは1、2種目ぐらい。このように12種目、大人も子どもも全部出てくるのは、見たことない。みんなはじけていて、とてもうれしい！」との喜びの声も多くいただきました。言われてみれば、そうだなーと思いました。子どもたちはもちろん、親や祖父母の皆さんを含めて、まだまだ一緒にパワーアップしていける、その特徴をこれからも生かしていきたいと思いました。

発起人となってくださった藤井一朗さん（元九重部屋トレーナー）は、来年か、近い将来、関西地区や、全国各地で開催して、最後に東京でみんなできればいいなと、次のビジョンに燃えています。

準備

3週間前から、ジョセフ（3才）と練習を始めましたが、「この2-3年で、こんなに走れなくなってたんだ！」とがっかりするところからのスタートでした。でも、僕が走ると、ジョセフも真似して自分から走り出すので、何事も、親が動くことは教育的にいいものだと思います。

大会前夜は、プログラム印刷等の準備が遅れ、午前3時までの作業となりました。1500メートルは自信が無かったので、「寝不足はまずいなー、体力温存せねば」と、朝のストレッチは軽くすませての本番となったのですが、...

肉離れ

ヤコブのように、走れなくなって

「ピシッ」という音と共にどん痛が走りました。最初の競技の『100メートル走』の途中、50メートルあたりです。軽めとは思いますが、左足太もの裏側が、肉離れ症状となりました。



100メートル走 競技者・男女46名（9才-40代）

「また、やった！」。3週間前、ジョセフと練習をし始めた時、起こした肉離れと同じです。「2、3年前のように走れなくなったなー」と愕然とし、張り切って練習始めた2日めに起こったアクシデントです。1週間は短距離をやめ、1500メートルに向けてのジョギングしながら、治ったかなと思った箇所でした。でも、再発。後で、調べてみると、肉離れは、治ったと思って治ってないケースが多く、再発しやすいとのこと。

100メートル走は、残り50メートルを、何とか、流して走って3位（全体で11位）。最初の種目で暗雲、神さまに足腰のつがいをはずされた、ヤコブのような体調になり、ひたすら、主に委ねるしかなくなりました。文字どおり、片足を引きずりながら歩く状態になったので。

みんなに、『人と競うのではなく、神さまに向かって...』と呼びかけてのオリンピックでしたが、僕自身、上位入賞をめざすのではなく、心の底から、神さまに向かって走るしかなくなりました。でも、これは良かったと思います。

男子100メートルは、ティーンや大人もたくさん参加し、12秒代が連発、結構、本格的。続いての女子100メートルも、ティーンに加え、お母さんたちも多数参加し、楽しそうでした。見ていてほえましかったです。

神さま見上げて、こつこつやると

腹筋100回は楽勝！

続く種目は、僕にとっての関門の1500メートル走。高校時代は、フルマラソンも平気だったし、この1年半は、鉄棒のけんすい等、筋肉トレーニングは、かなりやっていました。でも、中距離走も、まったく走れなくなっていたことに、今回、気づきました。でも、スポーツ・運動は何でもそうですが、的確な



6ヶ月の赤ちゃんも、お母さんと一緒に挑戦！（玉転がしリレー 競技者約170名）



25メートル走 競技者・男女18名（2才～4才）。50メートル走 競技者・男女51名（4才～11才）

練習を重ねれば、かなり伸びていきます。少し余談ですが、震災ボランティアのバスの中で、「腹筋できない」というティーンの子たちとの話になりました。「腹筋は、簡単だよ。一日5回から始めて、毎日、5回ずつ足していけばいいんだよ。その内、100回は簡単にできるようになるから。大事なことは、こつこつ忍耐強く、続けることだよ」。1ヶ月後、そのティーンの子は、「あれから続けています。50回は、楽勝でできるようになりました」とのことです。

そんな思いで、中距離走も、少しずつ練習し、あと1ヶ月あれば、かなり、いけるだろう、...と思うところまでは伸びていました。でも、朝の100メートルでの肉離れで、完走できるか不安いっぱい、神さま見上げて、ゆっくり走ることにしました。

1500メートル走は『周』を
数え間違えて失格！

スタートライン。何十年ぶりのドキドキ感。男女
8才から59才（スキーマの距離競技で国体5回参加の



1500メートル走 競技者31名 全員走破！（8才～59才）

強者）まで31名の参加で、それだけでも、なんか、楽しい気分です。でも、この競技で私は、1周早く、ゴールインという痛恨のミスを犯し、神さまの恵みと憐れみを実感することとなりました。

号砲後は、ペースを抑えて、後方グループにて追走。全部で7周半のうち、3周した時点で、太ももが何とか大丈夫そうだったので、ピッチを上げて、追い越していくことにしました。でも、結構、みんな速かった！ 先頭集団を見る余裕とか全くなく、何とか10人くらい抜いて、波場瑛君（13）と女子のトップの土肥愛基さん（14）の集団に入りました。そこで、『残り3周』の表示が出されました。

『これは、サムエル君の数字だからね！』との声が聞こえました。トップの月城サムエル君（14）は、前評判どおり健脚で、僕たちのグループは、1周（200メートル）抜かれていました。そこを計算しながら残り2周で、土肥さん、瑛君を抜き、でも最後、瑛君に抜き返されて1秒遅れで必死に、ゴールインでした。

ゴール地点では、「（サムエル）つばが血の味がした」というほど、皆、全力疾走で、倒れてました。僕も倒れていたら、「稲葉さん、すごい。追いつこうと思ったけど、早くて、追いつけなかった。いつも練習してるのですか？」と沼田純さん。最近、ホームスクーリングについて、ご夫妻に入門編を話す機会があった方です。中学生の時は、学校の記録保持者だったそうで、（あれ、僕は、そんなに早かったかな？）と思いました。

続いて来たのが、堀井勇士君（14）「稲葉さんには負けたくなかったな。悔しい！」とのこと。（あれ、そんなに早かったのかな？ もしかして、1週間遅えたのか、...）

その後、堀井翼君（16）から「稲葉さんには越された記憶ないんだけどな」（え、そうなのか？ やっぱ、1週間遅えたのか、...）

今回、個人競技の各記録を、ボランティアチーム

が集計してくれています。帰りの電車の中で調べてみると、記録では6位入賞になっていました。でも、すぐ後ろを走っていた土肥さんは、僕と瑛君に36秒遅れで12位でゴールイン。そんなに差があるはずがありません。「あ、やっぱり、1周短かったんだ！ まちがったー。僕がゴールに向かったおかげで、後ろから追ってきた瑛君まで、間違わせてしまったなー」。それで、2人は失格、記録は来年に持ち越されることになりました。後で瑛君にお詫びのメール。「大丈夫です。すごく楽しく走れたから、とても良かった！」とのこと。純さんたちにもミスを連絡することになりました。

神さまにあって再出発

教訓としては改めて、自分は何でも失敗するなー、そして、何でも、神さまの恵みと憐れみみだなー、ということです。(つくづく、そう思いました。)でも、土肥さんの記録から見ても、完走してたら、6分30秒台で、結構、いいタイムだったし、来年に向けて、今から、信仰をもって、がんばろう！とも思いました。

今回、苦戦している1500メートルでも何でも、神さまにあって一歩、一歩やっていけば、今からでもできる！ 伸ばせる！ 失敗だらけでも、ゼロからでも。聖書は言います。「このイエスの御名...を信じる信仰のゆえに...この人を強くしたのです」(使徒3:16)とにかく、神さまにあっては再出発できる、運動だけでなく、人生のどんなことでも、神さまにあって希望をもってやり直し、再出発できる、...そんな思いと信仰が与えられました。

走り幅跳びで、右足も痛める ー ロボット歩きになるが致命的にはならず

次の種目は、走り幅跳び。左足の太ももの裏は痛く、足は上げられない感じでした。助走区間を全力で走れるかな、うまく跳べるかな、...と不安もあり



コーディネートしてくれた藤井一朗さん、マット・マートン選手と共に

ましたが、せっかくの機会なので、思い切ってやることにしました。1走め、記録は平凡ですが、まあ、跳べました。でも、逆足の右足に同じ痛みが走りました。それで、両足、ロボット歩きになってきて、2走めの列に並びました。

仙台から来た松岡さんが、顔をしかめながらも列に並んでいました。「(松岡) 実は、足が痛くて、次、跳ぼうかどうか、迷ってました。震災ボランティア、行けなくなるかもしれないし。でも、稲葉さんが跳ぶなら、跳ぼうかな」「(稲葉) いやー。僕も、太ももの裏が痛くて、ちょっと迷ってました。でも思い切って、神さまに委ねて、やってみましょうか」ということで2回めも挑戦することになりました。記録はさらに落ちましたが、でも、致命的なけがなく、楽しく跳べました。

阪神タイガース マット・マートン選手取材、 お笑い芸人『勝又』さんらと共に

お昼は、阪神タイガースのマット・マートン選手のインタビュービデオの紹介です。取材は、2日前、阪神タイガースの宿舎の港区の某有名ホテルにて。まだシーズン中のヤクルト3連戦中にマートン選手が時間を与えてくれたことに、大感激。信仰がとても明確で、神さまへの信頼感にあふれ、昨年イチロー選手の記録を破って、年間ヒット数の新記録を樹立した人生の秘訣や、子どもの時に、親が、どのように自分に、スポーツ・運動をさせたのか等、良き話をしてくださいました。その前編は、今回のマガジン8ページに掲載されていますのでぜひ、ご覧ください。

取材には、アレンジしてくれた藤井一朗さんと弟さんの勝又伸悟さんと桑谷美穂スタッフと共に伺いました。勝又さんは、兄弟コンビでお笑い芸人『勝又』をやっていて、前週に放送されたTVのお笑い番組でも、高得点でトップ10入りしていました。日大芸術学部写真学科を卒業されていて、今回、サブのビデオカメラマンとして同行してくれました。いくつか、彼らが出演していた番組を見ていて、また、伸悟さんも、NHK時代に私が制作した「再出発の冬ー東京・山谷の小さな教会」とか見て、覚えていてくれて不思議を覚えました。とても面白い好青年で、昼食時には、「キリストは、僕ら全員の罪、人を憎んだり、自己中心であったり、神さまを神と思わず行動してきた、将来、地獄行きになってしまう、その罰を身代わりとなって背負って死んでくれた、キリストは無料のプレゼントだよ、信じて！」と分かち合うことが許されました。皆さん、『勝又』兄弟の今後の活躍と祝福をお祈りください。

競技場のスタッフの方に、ほめられた！

午後はソフトボールの遠投からスタート。両足の痛みはまだ、遠投できるレベルで、3位入賞(63メートル)できて感謝、その後、人気の『やり投げ



やり投げ（ジャベリック・スロー）競技者・男女67名
（2オ-50代）

（ジャベリック・スロー）も10位入賞できました。でも、ここで両足は限界で、残りの障害物競走、リレー等は来年に持ち越しました。でも、すごく楽しかったー、みんなも盛り上がり、うれしかったです。

競技場の制限時間内にも終了できました。スタッフの方は、「これだけたくさんの種目は、無理と思ってました。でも、進行が完璧スムーズで、すごかった。最後、リレーだけが時間かかったけど。（急速、参加人数を100人代に増やしたので）でも、その後の後片付けが早くて驚いた！」とのこと。さすが、チャーチ&ホームスクーラー！ いつもチアの分刻みのスケジュール、慣れていくくださり、ここでも感謝でした。

最後、電車に向かう時は、ペンギン歩き。土曜の夜で空いていたので、地下鉄の椅子に座ったら、痛みで、奥に座り直せず、はじっこに腰掛ける変な姿勢で帰りました。その後、2日は寝たきりで、でも2週間のリハビリ期間を経て、震災ボランティアに元気に向かうことができました。

サポート・スクール・親子セミナー

15日土曜日、チア・サポート・スクール（CSS）での親子セミナーが開催されました。「（Aさん）10人ぐらいかなーと思ったら、こんなにおられるのでび

っくりしました！」。参加者は、約50名。今春発足したCSSは原発事故等の関連で、プロモーション等を止め、静かに始まったのでした。でも、神さまが一步、一步、育ててくれているのだと思います。

メッセージの時間がありました。ティーンになってますます親子の関わりが必要なこと、夫婦のあり方、ティーンの男女関係、ほか、最近のティーンとの接点で感じたことなどをベースに話しました。いい意味で、サポートスクールみんなを通して、子どもたちの課題や必要を神さまが具体的に教えてくれているのかなとも思います。

サポートスクールの設立の動機には、HSの模範となり、中核をリードしていくホームスクーラーたちを育成できるならとの願いがありました。学力のさらなる実力アップもありますが、HSのティーン世代が成長し増えてきている中で、ほかのHSの模範にもなるHSチームの育成が必要だと感じたからです。今年は、寝食を長時間、共にした、富士山麓英語キャンプ、特に、この半年、繰り返し行ってきた東北サポートのボランティア活動が与えられました。寝泊まりをし、1000年に一度とも言われる震災での、貴重なぎりぎりの体験を共有する機会があったからこそ、気づかされ、与えられた恵がたくさんあります。自分も悔い改めつつ、全国のチャーチ&ホームスクーラーたちと一緒に成長していけたらと、今、感じています。

第6回「チア・東北サポート」

33トンの泥かきほか、恵みの中で終える！

皆さんにお祈りいただきました第6回チア東北サポートは、神さまの恵みと祝福の内に終えることができました（10月17日～22日）。

今回は、これまで最大の量の泥かき等頼まれていて、やりきれんかどうか、最初は、プレッシャーでした。結論から言いますと、啓明スクールの皆さん22名を含め、49名でトライ。軒下の泥や屋根がわら



若林区 過去最大の泥だしを、全力を尽くして！

等、土のう袋1100袋、重さにして約33トンの量を運び出す仕事を実行できました。ボランティアのレギュラー参加陣からは、「これまでは、5月の第3回、ヘドロかきが一番、きつかった。今回は、それをダントツ上回る。最高にきつかった！でも、すごく気持ちいい！」「途中、もうだめかと思った。でも、成し遂げることができて、すがすがしい達成感！」といった声。ティーンたちの幾人かが「腰が、、、つぶれそう、、、」「このボランティア、すごくいい。筋肉、つくんだよねー。前回はそうだったけど、今回、ここ堅くなってるもの、、、」。これはすごい恵みだと思いました。日頃、体育会系のように倒れるまでトレーニングという機会が、多くないと思うので。仕事を終えて見た澄み切ったオレンジの夕焼けに、皆で歓声をあげました。

後日談を、少しお伝えしますね。この作業、建設現場の方々からは、『3日で終わるかどうかな』と言われてのスタートでした。これまでの体験から私は、4日かかるかも、、、と思い、釜石、陸前高田グループと分ける案も考えました。でも、啓明スクール22名、「(Bさん、18才) 啓明のみんなはすごく良く働く。しっかり鍛えられている！」といったすごい援軍が送られ、49名のチーム全体が啓発しあい、すごい集中力とパワーで前進できました。それで、1日でほぼ終わることができました(と、その時は、みんな思いました)。しかし、その後、思わぬどんでん返しが待っていました。そのあたりの詳細は、次号に譲ります。

並行して、物資のサポートも釜石、陸前高田、仙台市若林区、そして東松島等で行え、被災者の皆さんとの交わりも一層、深く与えられました。被災体験を話してくださったり、聖書を求めてくださる方もさらに多く与えられたことも今回の特徴でした。皆さんのお祈りとご支援、心から感謝します。

第5回東北サポート

ここで、前号で約束しました、第5回東北サポートの様子をレポートしますね。前回は初めて、アメリカ人ホームスクーラーたち5人を迎え、現在の外務副大臣、山口つよし内閣府副大臣(復興等、担当)を訪問。その後、富士山麓英語キャンプに向かいます。(マガジン48ページを参照ください)。5人は、最初のバスの中からアメリカらしいはつらつとしたカルチャーをクリエイティブしてくれ、日本のホームスクーラーたちの英語学習への貢献に、張り切って、力を降り注ぎます。(詳細はマガジン39ページへ)

30名の参加者が、日常の英会話を寸劇入りで学んだり、マンツーマンでのインタビュー、グループ別に自分たちで制作した英語劇、お互いのきずなを深めるゲームやスポーツほか、有意義でした。

特に小雨の中の富士登山への挑戦は、感動でした。「富士登山をなめてはいけない！」リサーチを始めた今年3月に、教えられたことでした。アメリカチームには、登山靴ほか、しっかりと装備することを指



富士登山・雨の中、7合目へ！(8月 チア・サポート・スクール英語キャンプにて)

示しましたが、日本チームには申し訳なかったのですが、伝え忘れてしまいました。登山口は重装備の人々であふれている中、チアのティーンたちだけは、ほとんど、ジョギングレベルの軽装でした。そして、、、。

チームは、ハイキングコースと、登山コースの2チームに分かれました。登山コースが出発しようとする、薄着の女子3人が走ってきました。「(Aさん) 私たちも登山コースで」「(稲葉) うーん。こちらは本当にハードだよ。大丈夫？」「(Bさん) 大丈夫です。雨合羽も、買ってきました！」「(稲葉) うーん。その意欲は尊重するけど、ついてこれないと自分たちで下山することになるけどいい？ 覚悟ある？」「(Cさん) 大丈夫です」ということで、ティーンら17名で向かいました。ティーン男子や、アメリカチームは雨をものともせず、早いスピードで登ります。約40分後、最後に加わった女子3名が遅れ出しました。チーム全体は快調で、7合目をめざす勢いでしたが、「私たち、もう限界、だめです」とのことで、3名は、6合目すぎあたりで断念、サブリーダー格の伊左久君にお願いし、失意の下山となりました。

ほかのメンバーは、びしょびしょになりながらも、7合目まで到達、喜びの中、下山を始めました。その5分後、そこで、びっくりしました。断念し、先に下山に向かった女子チームと伊左久くん、4人が再登頂し、合流したのでした。「(稲葉) わーすごい！ よくここまで来たね。うれしいな。7合目は、ほんの少し上なだけなんだよ」「(Aさん) 少し下山して、おにぎり食べたら、元気出てきた！」「(Bさん) 弱者グループにはなりたくないって、、、」「(Aさん) 私、悔い改めました。できるはずって傲慢な思いがあったから」「(Cさん) そう。心の高ぶりが示されて。心砕かれた感じ。自信過剰だった」「(Aさん) でも、その後は力が出た。途中、おばさんたちの登山グループと一緒にあって、すごく楽しかった。疲

れて、『近道ありますかー』って聞いたら、『ない!』って言われ、みんなで『温泉入りたーい!』って叫んでたら『ない!』って。『そんな格好も、だめ!』って。みんなで賛美歌、歌って登ってたら、『元気で明るいナーって』『(稲葉) かわいがられて、喜ばれたんだね。良かったね!』

ちなみに7合目までの往復3時間は、通常の倍速。6時間かかると言われてた距離です。それで3人の女子が特別、弱かったわけではありません。CSSでは、来年は、頂上をめざそう!と張り切り、リサーチが始まっています。

第5回東北サポートへ — ガイガーカウンター

富士山麓から東京に戻り、翌々日、釜石方面に向けて、東京を発ちました。福島県にさしかかるところから、放射線の濃度が上がったことを示す、ガイガーカウンターが鳴り始めます。音の鳴り出しは、チェルノブイリで設定された0.3マイクロシーベルトにしてあるので、いわき市を過ぎたあたりからは、ずっと鳴り続けます(0.4 - 0.8)。宮城県に入ると、数値は出発時の東京のレベル(0.18等)以下に下がります。

陸前高田市に入り、被災した車、千台以上が集積されている場所に下車し、皆で少し時間を過ごしました。バスで元気だったUSAチームがことばを失い、いろいろと考えている姿が印象的でした。

体験を分かち合ってください、被災者の皆さん

二日目、釜石では、いつも支援を行ってきた浜町のA町内会長に連れられて、初めて、仮設住宅の方々のところで物資のサポートを行いました。

これまで同様、聖句を掲げた4トントラックの前に、150人あまりの皆さんが集まってくださり、「少しでも、応援と祈りを届けたいとの全国のクリスチャンの気持ちから...」と話し始めた私たちを温かく迎えてくれました。

今回の特徴は、被災者の皆さんが、これまでも増して、いろいろな体験を分かち合ってくださいということです。「子ども服見てたおばあちゃん、お孫さんを1人、亡くされたそうです。守られたもう1人のお孫さんのためになって、服を持っていけました。お葬式を、通った幼稚園の牧師さんがしてくれたそうで、その時、とても慰められたのだそうです。今度、教会行ってみようかなーって言ってました」「友達がクリスチャンで、今まで、意地悪してたそうです。でも、今度から、やさしく接しますって言って帰っていかれました」「足が悪くて取りに来られないお婆ちゃんがいるから、届けてほしいって言われました。行っていいでしょうか」「ぜひ。よろしく。Fさんと2人で行ってきて」「お婆さんから、勉強になるから、中に入って、仮設の暮らしを見て行きなさいと、招いてもらいました。そこでリポビタンDを

もらいました」

私に話してくださったのは、津波で背骨と足の骨を折り、最近、退院したばかりのおじいちゃん。状況を15分ほど話してくださり、一緒に聞いていたUSAチームの聖書を受け取ってくれました。

その後は、釜石港に乗り上げたままの大型貨物船を視察し、陸前高田へ。

無名の仮設住宅へ・陸前高田

陸前高田では、一つ、冒険をしようと思いました。40あまり仮設住宅エリアがありますが、ボランティア等がよく訪ねる所とそうでない所と大きな格差があると聞いていました。それで、誰も、行ってない所を訪ねてみようと思ったわけでした。「このエリアは、ほとんど、手が届いてないですね。私自身も行ったことがないので...」と社会協議会の方が話していました。

久々に、事前のアポや知人の紹介無しの『飛び込み』訪問です。最初の家の方に町内会長さんの部屋を教えてもらいましたが、不在でした。一緒に行った卓さんと、「(稲葉) この方法だめかもしれないですね。今は、午後一番で不在の方多いみたいだし、お昼寝どき、みたいだし」「(堀井) そうですね。これはちょっと、だめかなー」。どうしようか、と思いながら、祈りつつ、町内会長さんの隣をノックしてみたところ、出てくれました。「(稲葉) 今、物資のサポートをと思って...」と話しかけた時、先ほどの最初の家の方、Bさんが心配して、来てくれました。「(稲葉) 町内会長さん、お留守だったみたいです。それで、今、隣の方に聞いてみようと思って...。でも、あまり、必要なければ、無理にということないので、他にまわろうかと思ってました。必要、ありますか」「(Bさん) 必要あります!」。Bさんは、きっぱりと大きな声で答えられました。

ちょっと遠慮モードで伺った私は、その一途な声を聞き、面くらいました。これは、本当にニーズが切実なのだなーと思いました。「(Bさん) この仮設の皆さんは、みんな、全部流された人ばかりです。何が必要かという、全部、必要なのです」。その声を聞き、開催を決定。みんなは40戸ある仮設住宅をノックして開場を知らせ、約40名の人々が集まってきました。

「(Bさん) ここには、皆さんのようなボランティア、来てくれたことないのです。私たちは忘れられた存在なのかなーと思っていました。だから、とてもうれしかった!」。Bさんの目には涙が浮かび、とてもうれしく思いました。「私は、津波に3回、あったんだよ。でも、こんなのは初めてだ」と年配の方が、USAチームに話してくださり、渡された聖書を「読むからね」と受け取り、胸のポケットにしまってくれました。

殺菌用のEM剤の配布 — 気仙沼

翌日は、気仙沼で殺菌用のバクテリア（EM）剤を配布しました。初めて、サマリタンズ・パースから、依頼された仕事でした。皆で汗びしょりになりながらの実施、道で会う人々から、「うちの庭でもやってくれないか」「うちのそばの野原でやってくれないか」「駐車場を頼みたい」、とリクエストをいただきました。卓さんが、「収穫したてのトマトをくださった！」ともらってきました。午後は、支援物資の基地となっていた教会の大型テントの移設や雑草取り、そこで、今回、教会が全て流された、G牧師と再会しました。

ストーリーが続いて 南三陸町

帰り道、南三陸町で前回、知り合った避難所のC会長さんを仮設に訪ねました。この2ヶ月、何度か、電話でやり取りをしていました。堀井洋二さんも、教会で支援に出かけた時も、物資を運んでくれました。

前回は衣服を求められながらも、避難所のルールでCさん個人分しか渡せず、ちょっと残念な思いもしました。でも、「ここからストーリーが始まる！」と励まされていたものでした。やはり、その後、ストーリーは続きました。仮設では、自室に招いてくださいました。避難所として4ヶ月使った体育館の掃除を1人で三日間かけて行い、前日に仮設に移ったばかりだそうです。「（稲葉）今日は友達として寄ったよ」「（Cさん）ありがとう。今は、自分も疲れきった。本当に疲れた」「（稲葉）娘のエミリです」「（エミリ）聖書です。どうぞ」「（Cさん）ありがとう。寄ってくれてありがとう。うれしいな」。このことだけでも、良かったな—と思いました。

子どもたちが見た津波 —

仙台市若林区にて

日頃、ぼくとつとして、お世辞とか言わない若林区の材木工場のD社長からの電話がありました。「この前、ずいぶん、皆さん、喜んだみたいで、評判すごくよくて、びっくりするほどでした。みんな楽しみにしているみたいで、今回もよろしくお願いします」。こうした、うれしい声をもらいつつ、材木工場の3回目の物資サポートを行いました。

「この近くの小学校では、避難した子どもたちが、上の階に登りかけた最中に、順番待ってた、じいちゃんや、ばあちゃんたちが、目の前でたくさん流されていったんだ。小学校でも危ないってわかった時、『子どもたちをまず先にあげる！』って、みんなで、子どもたちを優先したんだ。子どもたち、みんな、その様子見てるから、今、大変なんだよ」「その夜、その堤防に置いてたトラックを取りに来たんだ。そうしたら、地獄絵だった。真っ暗闇のあちこちから、『助けてー』『見捨てないでくれー』って叫び声が聞こえる。でも、海になってるから近づけない。ライト照らすと、20メートルぐらい先に屋根が浮か



殺菌のためのバクテリア剤（EM）の散布（気仙沼 8月）

んで、その上とか、木の先にとか、つかまって浮かんでいる。『今、ボート借りてくるから、必ず来るから、がんばれー』って言って、消防団から借りてきた。近づいたら、たくさんいて、ピストンで20人ぐらい。でも、木につかまったまま、息絶えて、真っ白になってた方や水に浮いてる遺体もたくさんあった。本当に地獄だった」「この隣は、堤防でしょ。だからたくさん遺体が流されてきた。自衛隊の捜索が終わった後、最近も2人の遺体が、この庭で見つかったばかり。かわいそうに。1人は首がなかったんだ、...」

土のう袋1100袋の泥だしのリクエスト

その後、近所で泥かきと事務所の壁やゆかの水洗い。泥とホコリで真っ白になりながら、みんなよくがんばりました。

「もしお願いできるなら、この次、泥だしお願いしたいです。床はがしは終えておきますので、9月の中旬だと丁度、いいのだけど、...」「それは、感謝です。スケジュールだけ、少しずれて良ければ、...かなりの量なので、人数、そろえる必要あって、...」。かつてないレベルの泥だしの量。実際は、さらに屋根の瓦やほかの家々にも増えて、土のう袋1100袋分にも増えていきます。

10月中旬の第6回まで待ってもらったの実施となりましたが、そのような仕事を頼んでくれる関係を、うれしく思いました。これらの仕事は、市のボランティア事務所に頼めば、数日待てば、やってもらえることと思います。でも、あえて、1ヶ月半も先の私たちに頼んでくださることに、ただ、仕事を頼みたいということを超えた気持ち、「きずな」みたいなものを感じ、感謝しました。



雨の中、仙台での宅配伝道 — 第5回チア・東北サポート

レギュラー陣からの感想

最終日は、落ち着いてきた仙台近郊で、トラクトを宅配する時間も与えられ、感謝でした。前回の参加者の一人からの感想文です。

今回僕は、三度目のボランティアとなった。

回数を重ねるごとに、この震災がいかにもすごいものであったかということがわかってくる。

震災から半年以上たったとはいえ、まだ街には瓦礫がたくさん残っているし、各家々には、泥が溜まりっぱなしである。また、家を流されてしまった人は仮設住宅に住めても、日用品はまったく足りない。まだまだ支援が必要だ。

今回、よかったことはアメリカチームや幾人かが、被災者の方々に聖書を渡してくれたことや、最終日に仙台の伝道チームと共にトラクト配布をできたことだ。前回まで、聖句トラックで、証しする段階だったが、今回、イエス様の福音を詳しく伝えられて、とてもよかった。今回したことを通しても、東北の人たちが、今の状況だけに目を向けるのではなく、変わることがないイエス様に目を向けてくれたらいいなと思った。

自分は、家から泥を出したり支援物資や福音のトラクトを配る手伝いくらいしかできないが、これからも機会があれば支援を続けていきたい。

1ヶ月に及ぶ、エミリとの夏も感謝でした。最近、エミリいわく、「来年の夏は、日本の宣教師になりたい」と言ってる私の友達とか連れていきたいなー。ダディ、英語キャンプとか、ボランティアの内容とか、先に教えてくれてたら、今年、誘ってたのに、」「今回、走りながらのスケジュールだったからなー。アメリカチームをこれだけ受け入れるのを決定したのもエミリが日本に着いてからでしょう。ボランティア参加への小論文や推薦文の審査したのも、エミリ

が日本に着いてからだったよね。富士山に登る話はしたと思うけど、英語キャンプの詳細が決まったのもその後だったから。でも、それだけ良かったのだから、感謝だね。来年は状況次第で、未定だけど、今年のような展開、許されたらいいね」

第6回の終了間際、第2-4回でボランティアをしていた石巻のEさんと電話で話しました。「(Eさん)今は、どんどん更地になっていくだけ。この土地をまた、利用できるのか、規制がかかるのか、今はわからないので、がれき処理のバイトしながら、みな様子見てる感じ。土地離れる人も増えてきて、ゴーストタウン化が進んでいる。復興支援は、3年は必要になると思います。(侍浜の時のように)また、ボランティア先を探して、お世話になりたいと思うけど、いいですか」「(稲葉)それは、ぜひ!」。卓さんと、1月末ぐらいはどうだろうかと相談を始めたのでした。

とはいえ、一步、一步

こうした体験は、ただ、神さまを讃えるしかありません。その中で祈ることは、「謙遜」、「悔い改め」、「信仰」、「忍耐」を、深く持てるようにしてくださいということです。イエスさまの憐れみと赦しと助けを仰ぎながら、神さまと人々に仕え、福音の希望を伝えられるよう、一步、一步、前進していければと祈る日々です。聖書が言う通り、「この方(キリスト)以外には、誰によっても救いはありません」(使徒4:12)です。

震災から8ヶ月、特別な1年で開催される白馬セミナー、神さまに喜ばれ、皆さんが大いに祝福される3日間となりますよう、ご参加、お祈りのほど、どうぞ、よろしくお願いします。皆様へのますますの祝福を祈ります。

感謝しつつ

稲葉 寛夫



土のう袋・1100袋(約33トン)の作業を終えられた! (若林区)



今年は白马に集まりましょう！ どなたでも大歓迎！

- ◆家族のきずなの回復。そして、教育の原点、聖書に立ちかえる体験
- ◆北欧調リゾートホテルで100種類のバイキング
- ◆11種の温泉
- ◆徹底学習（約50の基調講演・分科会）
- ◆家族・教育の目的、情報、励ましとチャレンジが与えられる！
- ◆家族・チャーチスクール・仲間との一生の思い出！

東京 / 大阪 格安チャーターバス ※完全予約制

東京：2号車残席22席、大阪：残席24席
(11/3現在)

1人でも多くの方が参加できるよう、チアからの精一杯の応援です！ 東京は2号車受付に突入です。3号車はありませんのでお早めにお申込み下さい。

●東京往復

(大人/中高生¥6,500、小学生/幼児¥5,500)

11/17 東京：午前8時発 ホテル：午後2時着

11/19 ホテル：午後1時半発 東京：午後6時着

●大阪往復

(大人/中高生¥7,500、小学生/幼児¥6,500)

11/17 大阪：午前7時発 ホテル：午後2時着

11/19 ホテル：午後1時半発 大阪：午後7時半着

「アメイジング・グレイス」試写会&DVD販売会開催決定！

白马セミナー2日目 夜10時より

白马セミナー2日目の夜10時より、映画「アメイジング・グレイス」の試写会を開催します！

時は18世紀、イギリス。牧師になるか、国会議員を続けるか迷っていたウィリアム・ウィルバーフォースは、「神さま、答えて下さい」と祈る中で、「奴隷制度禁止」の志と道が与えられ、神さまの力を借りながら20年以上、忍耐し、不可能を可能にしていくストーリー。

親友で、後の英国首相、ウィリアム・ピットは「思う存分にやれ！」。また、賛美歌「アメイジング・グレイス」を作ったジョン・ニュートンに教を請うと、「見えなかった目が今は開かれた。真理の時が来ようとしている」と励まします。

20年越しの展開も、法案は却下され続け、病魔にも襲われます。くじけそうになった時、神は妻バーバラを送り、励まします。

史実に沿って描かれたこの物語は、現代の私たちをも励まします。ぜひご期待下さい！



読書感想文大会 & 絵画コンクール 締め切りました

たくさんのご応募、ありがとうございました！

■応募数：絵画 110点（11月3日現在）

読書感想文 18作品

授賞式は、白馬セミナー会場で開催されます。祝福をお祈り下さい。



第5回「グランプリ！大会」

キット、残数わずか！ お申込みはお早めに！

自作のレースカーで競い合うグランプリ大会を、白馬セミナーで開催します!! 白馬でも、レースカーキットを実費販売しますので、2日目の夜までに完成させての参加もOKです（500円）。個数に限りがありますので、お早めに！ 参加資格は、今年度制作のレースカーです。

昨年に引き続き、今回も「スピード部門」「美術部門」の2部門で競います。レースカーには、聖句も書き加えてください。

「美術部門」コンテストの郵送受付は11月10日まで。郵送先はチア事務局へ（白馬参加の皆様はご持参ください）。作品は白馬セミナーで展示し、優秀作品は表彰させていただく予定です。あるボランティアのご家族が、グランプリ特設コースを製作してくれました。

レースカーキットは、誰でも作れます。形や色も工夫できます。車軸は差し込むだけなので、トンカチ必要なし。お母さんや小さい子どもたちでもできる楽々セットです。気軽に、こぞってご参加ください！ 工作・技術の向上はもちろん、素晴らしい家族の思い出にもなりますよ！

現在、キット（500円）の申込を受付中です。ご希望の方は、お名前、ご住所、お電話番号、希望個数を明記の上、メール（office@cheajapan.com）、またはFAX（03-6862-8648）までお申込みください。



第5回 (8/29-9/2)

チア・東北サポート レポート1

A君 (14)

僕は今回、チアのボランティアに初参加させていただきました。ほかでは出来ない貴重な体験をいくつもさせて頂きましたが、その中でも特に印象に残っているのが、名取で二回目の支援物資配給をした時に一人のおじいちゃんがしてくれた、津波の話です。おじいちゃんは、津波が来た時の様子や、とっさに家の二階に避難して二、三日過ごしたことを話してくれました。

しかしその中で一番僕がショックを受けたのは、2m以上あった高さのことで、2日経っても引かなかった波のことでなく、「まさか本当に津波が来るとは思わないからねえ」というおじいちゃんの一言でした。それを聞いた瞬間、被災したのはかわいそうな特別な人たちではなく、自分と同じような人間なんだということをひどく実感し、とても悲しくなりました。それでも、その人たちの助けに自分がなれ、神さまの栄光を示すことができると思うと、とても嬉しくもなりました。

また、たくさんの喜びを味わえる、このボランティアに参加したいです。

B君 (17)

東北へボランティアに行ったのは、今回が2回目でした。

1回目は4月の初めに、個人的に教会の兄弟たちと一緒に行ったのですが、実は1回目から帰ってきたとき、僕は「もう二度とボランティアになんか行



消毒・消臭用のバクテリア剤の散布作業 (仙台市若林区にて)

くものか！」と固く決意していたのです。

なぜかと言うと、まず僕の中に問題がありました。「何か自分に出来ることをさせてもらいたい」という思いではなく、「僕がやってやるぜえ！」という、かなり思い上がった考えを持ってボランティアに向かったのです。でも、結局大したことは何も出来ず、不完全燃焼という言葉がぴったりでした。しかも津波の生々しい破壊の跡を目の当たりにし、精神的に大きなショックを受けたまま帰途に着いたのです。家に帰ってからも、受けた衝撃はなかなか僕の中から消えていかず、しばらくの間、ドーンと落ち込んでいました。「二度と行きたくない」と僕が思ったのは、そういう背景があったからです。

だから、そんな僕がこの第5回チア・東北サポートに参加することが出来たのは、まさに「導かれた」としか言いようがありません。

ある人から勧められたことも大きかったですが、「もう一回行ってみよう」と僕が決意したのは7月頃です。不安はたくさんありました。「またショックを受けるんじゃないだろうか」とか、「アメリカのホームスクーラーも来るらしい。どうやってコミュニケーションを取ればいいんだろう」とか（特にこれは、英会話に苦手意識がある僕にとっては大問題です）。でもなによりも不安だったのは、「また同じ失敗（思い上がった心を持ったままボランティアに行く）を



東京 / 大阪 チャーターバス ※完全予約制

1人でも多くの方が参加できるよう、チアからのせ
いっばいの応援です！ ※先着順

●東京往復

(大人/中高生 ¥6,500、小学生/幼児 ¥5,500)

11/17 東京：午前8時発 ホテル：午後2時着

11/19 ホテル：午後1時半発 東京：午後6時着

●大阪往復

(大人/中高生 ¥7,500、小学生/幼児 ¥6,500)

11/17 大阪：午前7時発 ホテル：午後2時着

11/19 ホテル：午後1時半発 大阪：午後7時半着

ホテル送迎バス

(長野・白馬町・南小谷・白馬乗鞍)

※完全予約制

<行き>

●長野駅 12:10発

●南小谷駅 11:50発、13:10発

●白馬町 13:50発

●白馬乗鞍 14:45発

<帰り> ホテル出発時間

●長野駅行き 13:20発

●南小谷駅行き 13:50発

●白馬町行き 14:30発

ご希望の方は、11月14日(月)までに下記申込
用紙あるいはEメールにてお申し込みください。

格安チャーターバス(先着50名) & ホテル送迎バス申込書
FAX 03-6862-8648 Eメール office@cheajapan.com

代表者お名前() 乗車人数() 名 携帯番号()

ご希望のバスに○をつけて下さい 東京バス 大阪バス ホテル送迎バス(※)

※ホテル送迎バスの方は、ご希望の場所をご記入ください。 行き() 帰り() 行き

一般の交通手段のご案内

☆行きの手段(11月17日) ※(送迎=ホテル送迎バス：完全予約制)

・新宿より高速バス(片道 ¥4700、往復 ¥8500) 京王高速バス：予約制 <http://www.highwaybus.com>、03-5376-2222

A 新宿駅西口発 8:00 ⇒ 白馬町着 12:35 ⇒ 白馬町発(送迎) 13:50

B 新宿駅西口発 9:00 ⇒ 白馬町着 13:35 ⇒ 白馬町発(送迎) 13:50

・新宿より電車(特急)(片道 ¥7560~)

A 新宿駅発(あずさ3号) 7:30 ⇒ 南小谷駅着 11:42 ⇒ 南小谷発(送迎) 11:50

B 新宿駅発(スーパーあずさ5号) 8:00 ⇒ 松本駅着 10:38 ⇒ 松本駅発(JR) 11:08 ⇒ 南小谷駅着 12:59 ⇒
南小谷駅発(送迎) 13:10

・東京より新幹線(片道 ¥7770~)

A 東京駅発(あさま513号) 9:52 ⇒ 長野駅着 11:28 ⇒ 長野駅発(送迎) 12:10

B 東京駅発(あさま515号) 10:24 ⇒ 長野駅着 11:51 ⇒ 長野駅発(送迎) 12:10

C 東京駅発(あさま517号) 10:44 ⇒ 長野駅着 12:33 ⇒ 長野駅発(路線バス：白馬乗鞍行き) 13:10 ⇒
白馬乗鞍着 14:45 ⇒ 白馬乗鞍発(送迎) 14:45 (※多少、集会に遅れますが、予備候補です)

・名古屋方面より電車(片道 ¥6620~)

A 名古屋駅発(ワイドビューしなの5号) 9:00 ⇒ 長野駅着 11:52 ⇒ 長野駅発(送迎) 12:10

※ホテルは駐車場完備ですので、自家用車でもOKです(アクセス情報→ www.hgp.co.jp/inf/Z01/hgp/access.html)。

☆帰りの手段(11月19日) ※ホテル発⇒(ホテル送迎バス：完全予約制)

・新宿まで高速バス：ホテル発 14:30 ⇒ 白馬町着 ⇒ 白馬町発 15:35 ⇒ 新宿西口着 20:10

・新宿まで電車(特急)：ホテル発 13:50 ⇒ 南小谷駅着 ⇒ 南小谷駅発(あずさ26号) 14:22 ⇒ 新宿駅着 18:34

・東京まで新幹線：ホテル発 13:20 ⇒ 長野駅着 ⇒ 長野駅発(あさま532号) 14:59 ⇒ 東京駅着 16:32

・名古屋まで電車：ホテル発 13:20 ⇒ 長野駅着 ⇒ 長野駅発(ワイドビューしなの18号) 15:00 ⇒ 名古屋駅着 18:01

白馬セミナー2011 抄録（五十音順・敬称略）

■主講師

エリザベス・スミス Elizabeth Smith

【基調講演1】

「神の臨在の中でのホームスクーリング」
(Homeschooling in His Presence)

聖書はホームスクーリングをどのように示し、聖霊はどのように支えようとしているのか。神様との関係が近くなることで、教育への努力はさらに祝福され、多くの実を結びます。神の臨在の中で進めるホームスクーリングの秘訣を伝えます。

It is spiritual in content and advocates a more intimate relationship with God to gain his blessing on our homeschool efforts.

【前編：基調講演2 後編：分科会】

「子どもたちの魂を訓練する秘訣」(Training the Soul of a Child)

訓練とは、何かを教えること以上を指します。子どもの魂の中心部分には、人格があります。この領域においては、何よりも神の知恵を用いて訓練していくことが重要です。それが、子どもが大人になった時に成功する基礎となります。この分科会では、心、意志、感情を含む、子どもの魂の訓練について、ざっとおさらいしてみたいと思います。同時に、弟子訓練をするための明確なガイドラインも紹介する予定です。

Training is more than teaching. A child's soul is the seat of his character. Nothing is more important than applying God's wisdom to training in this area, for it is the foundation of a child's success as an adult. In this session, Elizabeth Smith will walk you through the training of the soul of a child—his mind, will, and emotions. Clear guidelines for discipline will also be presented.

【基調講演3】

「バランスのとれた家庭・夫婦、そしてホームスクーリング？ 夫と妻への10のヒント&妻が夫に知ってもらいたい、ホームスクーリングのポイント」
(Balancing Home, Marriage, and Homeschooling)

もし、ホームスクーリングの日々を成功させたいと願うなら、良質な家庭生活と、健全な結婚生活を立て上げなくてはなりません。そうすることで、子どもたちが将来、人間関係を築く際の、模範を示すことができます。この講演では、どのようにそれを実行していくかに焦点を当てます。また、夫と妻へ10のヒントと、妻が夫に知っていてほしい、ホームスクーリングのポイントについてもお話しします。

If we want our homeschool years to be successful, we must build a quality family life and healthy marriage that will serve as a model for our children's future relationships. In this session, Elizabeth Smith focuses on how to make that happen. Included are 10 tips for husbands and wives and what wives wished their husbands knew about homeschooling.

「危機（ストレス）管理と結婚生活を長い目で成功させるために」(Crisis Management and Marriage for the Long Term)

この分科会は、ホームスクーリングを行う妻、また母親が対象です。ホームスクーリング・ママとして経験した、ホームスクーリング独特のプレッシャーについてお話したいと思います。また、人生におけるストレスの価値と目的について、それらを取り扱う特別な方法についてもご説明します。皆さんのホームスクールの日々を導く知恵を、ぜひつかんで下さい！

This workshop is for the homeschooling wife and mother. Elizabeth will deal with the unique pressures homeschooling moms experience. She will explain the value and purpose of stress in our lives and share specific ways to deal with it. Gain wisdom to help navigate the homeschool years!

「ホームスクーリング：霊的なリバイバルか、教育改革か」(Homeschooling: Spiritual Revival or Education Movement?)

「ホームスクーリング成功への5つの秘訣」(Five Essential Ingredients to Successful Homeschooling)

ホームスクーリングとは、単なる「教育」ではなく、それ以上の事柄です。時には、まるで地雷原を横断しているかのような経験をする、それがホームスクールとも言えます。この分科会では、家庭で学ぶ皆さんが確実に成功を手に行けるよう、そのような地雷原を歩いて行く方法をお伝えします。この明確なクリスチャン・メッセージによって、成功に向けた神のレッスン・プランに、間違いなく踏み出していけることでしょう。

Homeschooling is more than education. The homeschool experience can be like traversing a minefield. In this session, Elizabeth Smith tells how to step around the land mines to ensure success with your at-home learner. This clear Christian message will put us squarely in God's lesson plan for success.

「ティーンをホームスクーリングすべき10の理由」 (Ten Reasons to Homeschool Teens)

ティーンホームスクーリングについて重要な質問を投げかけると同時に、家庭で良い関係を築く意義に焦点を当てます。学力面での利点と、大学への準備についても分かち合います。ティーンの子もたちをホームスクーリングするかどうか迷っている人は、必須のセッションです。ティーンをホームスクーリングする上で、「10の優先ポイント」についても分かちします。

Elizabeth Smith presents important questions to ask regarding homeschooling teens, and stresses building good relationships at home. The academic advantages of homeschooling and getting your teens ready for college are discussed. For those deciding whether to homeschool during the teen years, this session is a must. Also, hear Elizabeth's "Top 10 Priorities" for homeschooling your teen.

《基調講演》

「理念の再確認」

青木靖彦

主のみこころに従って次の世代を育て上げることはやさしい仕事ではありません。犠牲を払って困難に立ち向かうためには、何のために行うのか、しっかりと理解し、目標と希望を見失うことなく励まなければなりません。子どもを育てることについての主のみこころを確認し、それがどれほど大きな祝福につながるのか確かめたいと思います。親や教師、牧師がわきまえておくべきこと、大切なことは何かについて共通の土台を持てるように共に考える時を持ちたいと思います。

「希望のチャーチ&ホームスクーリング」

稲葉寛夫

「信仰から離れる子ども」

ピリポ・ブローマン

「終わりの日には困難な時代がやってくる。」(第二テモテ3:1)

「若者をそのいく道にふさわしく教育せよ。そうすれば年老いてもそこから離れない。」(箴言22:6)

クリスチャンの家庭に育っても、大人になれば信仰から離れる子どもがいます。私どもの教会にも残念ながら、このような子どもがいました。私どもの教会における子育てについて、この50~60年を振り返ってみれば親が反省すべき点をいくつか指摘できることがあります。皆さんの子育ての参考になればと思い、お話いたします。

《分科会》

「世界観の大切さ」

青木靖彦

主の教育の最大の成果は何でしょうか。子どもた

ちに正しい聖書的世界観を持たせることと言えるでしょう。正しくない聖書的世界観とは何でしょうか。その土台は、聖書に対する理解です。聖書は神のことばでしょうか、人のことばでしょうか。神のことばであるなら、その根拠はどこにありますか。この分科会では、世界観の大切さと、教育にたずさわる者の責任について考え、それをどのようにして教えるのかを考えます。

「子育てにどのように信仰を働かせるか」

青木由美子

スクールの現場にあると、毎年、異なった問題に直面します。信仰をもって対処しなければならないことばかりです。主のみ声を求めつつ解決をはかるとき、その問題があったがゆえに、思いもかけない恵みにあずかるものです。私たちの仕えている神さまは100%よいお方です。光の子どもクリスチャン・スクールも11年たち、たくさんの証ができるようになりました。主にあってお互いに励ましを受けたいと願っています。

「ゲーム式実験で経済学がよく分かる！ 意思決定の基準と分配の仕組み」

赤林英夫・大垣昌夫

経済学は、「金儲け」の学問ではありません。「希少な資源が、人々にどう分配されているか、また、分配されるべきか」を探究する学問です。例えば環境問題や年金問題は、世代間の資源分配の問題と捉えられます。あるいは会社の経営判断も、その分配の仕方を意識して決断するならば、よりの確な判断ができます。将来を担う世代、特に若いクリスチャンのリーダーが、しっかりと経済の分配の意識を持ち、それぞれのステージで決断していく必要があります。本分科会では、そうした「経済学」がよくわかり、リーダーとして良き決断の基準を、どう身につけるか、子どもたちにどのように「経済学」に関心を持たせ、探求を動機づけさせていくか、分かち合います。同時に、白馬セミナーで私たちが行った「世界観の経済行動への影響」実験研究の意義についても説明します。

「高認の次はどうする？」

阿部俊之・寿子

高校3年生の長女、高校2年生の長男が昨年秋に高認に合格しました。その後、次の進路に向けてどのようにして親子で話し合い、祈り、取り組んできたのかを具体的にお話させていただきます。またその様子を見ていた中学2年生の次女、小学4年生の三女とはどのように関わりながら日々過ごしているかも分かちさせていただきます。

「チャーチ&ホームスクーリング — 必ず聞かれる20の質問」 稲葉寛夫

「チャーチ&ホームスクーリングって何？」そんな質問への答えから始めて、全体像をつかめるセッション。スタート済みの皆さんには、知人・友人へのプレゼンテーションへの参考に。「社会性は？」「微分、積分ができなくても教えられる？」「聖書が教える教育法は？」「しつけは？」「大学進学、就職は？」「ホームスクーリング・マインドのチャーチスクールって？」「週2時間からできるC&Hって？」。9年半の全国各地でのセミナーで多かったQ&Aをベースに8時間コースを50分に短縮した、一度は必修のコース！

「何でも質問ください！ー 私の受けた教育、私が授けたい教育」

岩佐憲宣

何を聞いてもらってもOKです。養子の人生、19才で受けたスパンク、強い父との心の葛藤、賢い妻と5人の子どもに恵まれて、ホームスクーリングについて、チアの親御さん、子どもたちと接して感じたり、考えたりすること、教育・人生の目的…ほか、どうぞ、遠慮なく、ざっくばらんに、何でも、聞いてください。ご質問なければ、5分で終わるかもしれません。

「ホームスクーリングにかける夢」

植野伸一・愛

長男（8歳）、長女（5歳）のホームスクーリングを始めて1年半がたちました。植野家が韓国滞在中にホームスクーリングを決断した理由、毎日試行錯誤する中で味わう難しさと喜び、そして日本宣教につながる夢を語ります。初めの一步は小さいかもしれないがその終わりは甚だ大きくなると信じてホームスクーリングを始めてみませんか？

宇佐神 実

創造科学研究会。水戸・I・クリエーションアカデミー。進化論、無神論教育に対し聖書から科学的な論陣を張る。2人（16歳、10歳）にチャーチ&ホームスクーリングを初めて10年。チア・にっぽんアソシエイトスピーカー。

「On the Way ～主にあって・主を見上げて～」

梶山直樹・志津

今年2011年4月より横浜・湖北ニュータウンでの開拓伝道に導かれ、9月末に家族で横浜に引っ越したのを機会に5年ぶりにホームスクーリングを再開しました。

その間には大好きだったおじいちゃんの召天・第5子の誕生・長男長女の受洗・チャーチスクールからの卒業など、様々な出来事があり、その時々主にある決断・思いなどを紹介しながら私たちの家族の歩み・目標を分かち合い、皆さんと励ましあい祈りあいたいと思います。

「ホームスクールの実」

ギンターマイケル・千為子

結婚前から、子どもの教育はホームスクーリングでと心に決めていました。

信仰によって一心に歩んできましたが、振り返ると、いつの時も神様の力強い愛の御手に守られてきたことに、ただ驚くばかりです。

今回は、なぜホームスクールで子どもを育てたいと思ったのか、そして、学校教育とホームスクールによる教育の違いについて、これまで歩んできた道のりを振り返りながら、また現在の子どもの状況も交えてお分かちさせていただきたいと思っています。

「新しい英語カリキュラムGrapeSEED 母語的な習得方法で パート1&パート2」 グレープシティ（毛利康夫・大久保英輝）

自然な言語発展に従い母語的に英語を習得する。これがGrapeSEEDの基本理念です。

効率よく英語が覚えられるように英語の特徴の一つである「頻出語」を機能的に学習するメカニズム、日本語と違う英語の音素に気づき、それを身につける練習のためのツールなど、GrapeSEEDを構成する重要なコンポーネントをわかりやすく説明します。

このセミナーに参加されると、GrapeSEEDを始める条件の「導入セミナーの受講」を修了したことになります。

「HSとはハートスクール」

清野基・百合子

もし、自分のせいで、子どもたちが神様を嫌いになってしまったら。神様のことを誤解してしまったら。そう思うくらい、子どもに心を開けない自分があります。殻に閉じこもってしまう日本男児がすべきことは、ホームスクールと言うよりはハートスクールでした。

「楽しく試行錯誤」

棚田伊作・加代子

決して大家族のドラマチックなストーリーではありません。夫は個人英語教室を運営し、妻は専業主婦。県営住宅に住む夫婦が、2人の子供（長男10歳、長女7歳）を教えています。ホームスクールを開始して3年目を迎え、クリスチャンとして成長して欲しい、人に仕える者となってほしいと強く願っているが、常にマンネリ化を恐れて試行錯誤を繰り返す日々。そんな両親のもとでも、子供達は笑いにあふれています。

「東京伝道とチャーチスクールの働き」

田村正幸

2004年4月からチャーチスクールが始まりました。年長さんから、中学2年生までの6名でのスタート

でした。いつも心がけてきたことは、救いと主の働き人の養成でした。それから8年間、多いときは13名を数えました。教科のカリキュラム編成や多学年に及ぶ生徒の指導法について悩みました。そして、2011年4月より、群馬県から約100km後にある東京都への伝道活動が始まりました。働き人は、かつてのチャーチスクールの生徒たちです。神様は、私たちの群れを祝し、キリストのための働き人を養成してくれました。この7年間の道のりを振り返りながら、神様の力強い働きを分かち合いたいと思います。

「素顔のホームスクーリング（仮題）」

辻寿・奈央子

毎日のホームスクーリングを通じて、私たちが学んだ、ホームスクールの目的、夫婦の役割分担、家計・時間管理についてお話をします。父親がどうやってホームスクールにかかわるか？ しつけやご褒美、習い事、ファミリーワークショップなどについて写真や資料をつかってご紹介します。

我が家は長男（自閉症児）の就学を機に、2008年よりホームスクールを初め、現在で4年目。夫婦で祈り、長女（小6）、長男（小3）、次女（小1）の3人の子どもをACEという米国のカリキュラムで育てています。

「7年間のHSで学んだこと（仮題）」

中島若樹・啓子

14、11、9、6、4、1才の6人をホームスクーリング中。幼児を抱えながら、ティーンエイジャーの教育を模索している中島家の様子を紹介します。今回の分科会では、初めて、子供も少し話をします。7年間のホームスクーリングで学んできたこと、感じていることなどを分かち合いたいと思います。

「常に私たちの羊飼いであられる神 ー那須家のホームスクーリング8年目ー」

那須清志・百合美

2004年4月より始まったホームスクーリングも8年目になりました。5人の子どもたちは現在、長男（19歳）と長女（17歳）がそれぞれの目標に向かって勉強中。次女（15歳）は今年高卒認定試験に合格し、次男（13歳）は10月に洗礼を受けました。三女（11歳）は最後の小学生を楽しんでいます。子どもたちは自分たちの教会だけでなく、父親と一緒に訪れる教会でもさまざまな働きにあずかるようになったり、東北地方のボランティアなどにも参加したりして活動の場が広がっています。

一人ひとりの個性がますますほとばしっていく中、当初のホームスクーリングマインドを失うことなく、フレキシブルに対応していく必要を痛感する毎日です。

今回の分科会では、子どもの変化に対する親の接し方、子どもたちに対する主の取り扱いなど最近の我が家のホームスクーリングについて語らせていた

だきます。

「効果的なホームスクール教育に対する評価基準はどのようなものか パート1 & パート2 (What is the measure of an effective homeschool education?)」

ピーター・ブロックソム Peter Blocksom

ホームスクールでの教育を終えた人の中で、音楽、テレビ番組、政党、宗教団体に関して、両親と嗜好が同じであるが、それはただ単に他のものに触れたことがないからだという人は、他者に影響を及ぼすことができないし、また及ぼすことにもならないでしょう。分析的な思考力を育成するという目標がなければなりません。また自分の抱く世界観を通して考え、その世界観を論理的に擁護できるように備えられていなければなりません。

ホームスクールを終えた人は、効果的なコミュニケーションが図れる者であることが必要であり、またスピーチや討論の能力以外においても、うまくコミュニケーションが図れる者でなければなりません。

ホームスクールを終了し、立派な修了生となるためには、知識と情報を収集し、創造的に問題を解決し、また外の社会においてもリーダーシップを発揮し、奉仕することによって、他者の人生に貢献できる者でなければなりません。若者が知的好奇心を抱くこと、また異なる価値観と意見の世界に生きる人々の意見に対し敬意を抱くことは重要なことです。

「私の証」

ビリポ・ブローマン

58年前、私は福音伝道の目的で来日しました。そのきっかけとなった聖書の言葉があります。

今、振り返ってみればその聖書の言葉は正しく、これまで私の人生を導いてくれた大切な言葉であり、今日までそのみ言葉の力とありがたさは変わることがありません。このみ言葉を皆さんと分かち合いたいと思います。

「子どもをしつけるための心得」

ビリポ・ブローマン

子どもが悪いことをする時（親に逆らう、嘘をつく、人をいじめる、物を盗むなど）、子どもを愛する親は、我が子を救うためにどのようにすれば良いのでしょうか。聖書の教えるしつけの大切なポイントについて、分かち合います。セッションの中で、「どのようにスパイクするか」。実演をともなった指導のときを持ちます。

「明泉絵本CDの使い方」

ビリポ・ブローマン

「『チアサポートスクール』START !!」

堀井卓

今年4月にチアサポートスクールが始まりました。現在、HSの協力体制、サポートの充実を祈りつつ進んでいます。

数年前からHS家族が集まり、勉強会、習字、見学会などが始まり、その延長線上での本格スタートです。HSの学習面のサポート、進学、留学、資格取得の相談など、父母の皆さん、チアのオフィスと一体となりながら、一人ひとりへのサポートをしています。

チア東北ボランティア、チア・オリンピック、英語キャンプ、富士7合目登山、来年度の予定なども報告いたします。

「21世紀の学び方：移り行く現代の中で、適応できる若者を育てる」

マイク・ハニーウッド

近年、従来の教授法や勉強法は次第に役に立たなくなりつつあります。学生たちは実用性に欠ける、その場しのぎの様な課題に対して興味を失い、学ぶという事に後ろ向きです。技術が日々進化していく現代の社会では、その技術を用いて新しい教授法や勉強法を行う事が出来ます。それには今までとは違った視点を持つ必要があります。

テストの点や順位にこだわるという視点から、学ぶ事自体に学生の興味を引きつけることが出来たらどうなるでしょうか？

教科書を暗記することから、目で見える社会から学ぶことが出来たらどうでしょうか？

彼らに問題を解くことを教えるより、むしろ彼らに解決が必要な問題に挑む事を教えたのならどうなるでしょうか？

彼らに「結果」を教えるより、実際に「体験」するという手助けをしたらどうなるでしょうか？

学生が課題を達成させるという事はとても重要で、挑戦するという事を基本とした学びは、あらゆる方面から教授法や勉強法に関連づけることが出来ます。これは 実際に体験し、学生同士や先生、各分野の専門家達に質問する事からそれぞれの分野に関して知識を高め、問題に挑み、実際に行動し、その体験を仲間に伝えるという、問題解決の為に実際に行動を起こし、その後得た経験を伝えるという協力型の学びです。

この分科会は信州大学、繊維学部感性工学課程において日本の学生の為に作られた例を用いて行います。

「おやじは涙出るよ…！～ 仕上げ、過渡期、草創期 / だんご三兄弟～」

松岡淳裕・みぎわ

仙台在住の我が家にとって、今年最大のニュースは、もちろん東日本大震災に遭ったことである。世の終わりかと、真剣に思われるほどの大きな、そして長い揺れを体験した。幸いにも、我が家はさほど被害はなかったが、地震によって多くのことがもたらされ、悩み、苦しみ、考え、…、悟らされた

(?)、恵みと祝福、感謝と喜びに満ちた、貴重な日々であった。ホームスクーリング8年目、仕上げ段階に入りつつある長男13歳、過渡期の次男11歳、草創期の三男1歳5ヶ月、そして、年数だけは経っているが、熟成しない父と母…。息子たちとの壮絶な日常バトルの様子とあわせて、リアルに分かち合いたいと思う。

「ドクター・モックのダイエット講座と聖書が教える長寿の秘訣」

森脇弘隆

皆さん、お元気ですか？ 元気で明るいホームスクール・チャーチスクールを展開するには、まずは体が基本。メタボなどにはなってられません!! 慎重162cm、体重51㎏、体脂肪率12%、46歳の私はJリーガーの身体を目指しています。10年ほど前に聖書の・効果的なダイエット法にめぐり合い、半年ほどで8kg減量、以後、体調を維持しています。メタボに悩む兄弟姉妹に朗報です!! ついつい食べても大丈夫!! 無理せず、楽に3ヶ月で3㎏は減量できるダイエット法を伝授します。そして、聖書が教える長寿の秘訣も教えちゃいます!!

「山川ファミリーのチャーチ&ホームスクール」～告白の力～

山川哲平・真紀子

チャーチ&ホームスクールに導かれて6年が経とうとしています。ハレルヤチャーチ高松開拓3年目にして、何と！奇跡的に山川家に白い塗り壁のかわいいマイホームが与えられた！

現在は6人の子供達(咲良、心、臨歌、夢、契、美波)と、合計5家族中心で英語中心のC&Hをしています。形にとらわれなくて、聖霊に導かれるままにスクーリングを進めています。「神様が道を備えてくださった証し」、「公立小学校とのやり取り」や、「未信者の同級生への伝道」、「実際にどのようなスケジュールなの?」、「C&Hの4つの柱」、「勉強面は大丈夫?」、「社会性は?」、「チャーチ&ホームスクールで得する7つのこと」などを分かち合います。信仰によって、ビジョンを告白することにより、その通りになって行きます。イエス様は、「あなたの信仰の通りになるように」と言われました。信じて、告白する時、神様のビジョンが成っていきます。



《 白馬セミナー 特別企画 》

慶応義塾大学経済学部 赤林・大垣教授の
研究へのコラボレーション！

☆ 白馬セミナー参加者のアンケート協力（独身者・家族OK!）… 協力謝礼 1,000円

☆ 親子でゲーム式実験に参加くださったご家族へ … 協力謝礼 3,000円

大垣教授 （談）

「この実験は世界でも初となるであろう、親子関係と世界観が、どのような経済行動をもたらすかの実験です。この実験に参加されると、経済学がよくわかるようになる、または、その良ききっかけとなります。経済学をしっかり押さえておくことは、これからのリーダーにかかせない要素です。特に、クリスチャンには是非！（私もクリスチャンです）

経済学とは何かといえば、金儲けの手段ではありません。経済の希少な資源の分配をどのようにとらえ、行動していったら良いかを理解し、判断の基準として役立てていく学問です。

たとえば、年金問題は、世代によって、経済の分配をどうするかということですし、あるいは会社の経営判断も、その分配の仕組みを理解して決断するならば、よりの確な判断ができます。将来を担う世代、特に若いクリスチャンのリーダーが、しっかりと経済の分配の意識を持ち、それぞれのステージで決断していく必要があります。今回の実験参加はそうした意識を啓発し、経済学をしっかりととらえる、きっかけとなる、良き体験となるでしょう！」

ゲーム式実験は、予約制（各セッション最多4家族）です。子どもさんは小学生～高校生が主要な対象ですが、小遣いを定期的にもらっていれば、3～4才でも可。実験のスケジュールは、分科会の各セッション（土曜の最後を除く）、金曜の午後の自由時間。ゲーム式実験は通常約30～40分の予定です。参加者の皆さんには、後ほど、申し込み用紙が郵送されますので、その用紙でお申し込みください。

チアとしては、「経済学、将来の経営判断の基礎がよくわかる！ そのきっかけとなりうる！」、「慶応義塾大学経済学部 赤林・大垣教授らの世界初と言われる研究実験にコラボできる」、「協力者に謝礼が出る」等のメリットを考えて、新しい試みですが、扉を開き、協力してみることにしました。導かれた皆さんは、こぞって応募ください。

赤林・大垣教授による分科会もあります！
「ゲーム式実験で経済学がよく分かる！ 意思決定の基準と分配の仕組み」

プロフィール

赤林英夫教授：1996年シカゴ大学経済学部、PhD。
1996年世界銀行コンサルタントエコノミスト、
1997年慶応義塾大学経済学部助教授、2006年同大学教授。

大垣昌夫教授：1988年シカゴ大学経済学部、PhD。
1988年ロチェスター大学助教授、1994年オハイオ州立大学助教授、2002年同大学教授。2009年慶応義塾大学教授。

慶応義塾大学経済学部 赤林・大垣教授から
「世界観の経済行動への影響」研究に
御協力依頼です！

白馬セミナー2011の参加者の皆さんに、私どもの研究への御協力を
お願いいたします。アンケートは無記名、お答えいただいた内容は研究
目的以外の使用はありません。当日、アンケートを提出くださった方に
協力謝礼と、さらに当日の親子でゲーム式実験に参加してくださった方に
協力謝礼が出ます。詳細は、白馬セミナー参加者の皆さんに郵送いた
します。よろしくお願いします。



お問い合わせは、慶応義塾大学 大垣研究室

メール：mogaki@econ.keio.ac.jp 電話：03-5418-6403

赤林英夫 慶応義塾大学経済学部 教授

大垣昌夫 慶応義塾大学経済学部 教授

第4回 (6/13-16)

チア・東北サポート レポート3

A君 (14)

6月13～16日、被災地に行って来ました。実際にその地に行ってみて、汽車が道路に倒れていたり、船が陸地に乗り上げていたり瓦礫の山々にかく然としました。

南三陸では骨組みだけになってしまった防災対策庁舎を間近で見た時に、震災の日に何十メートルもの高い津波がこの辺り一面襲ったのかと思うと何とも言えない気持ちになりました。

被災地に行く機会が与えられた事を神様とチアに心から感謝します。

Bくん (14)

東北に行ってきました！！

こんな事いったら失礼かと思うんですが、このキャンプに参加する事が決まった時、僕はとても嬉しかったんです。自分の目で東北の災害を見た事がなかったし、、、でもでもでも、東北についた時ぼくの思いは180°変わりました。

行く前は見るのを楽しみにしていた僕の気持ちは、南三陸町の凄まじい光景を見た時、「なぜこんな事を神様は許したんだろう」という問いかけに変わりました。

暑い1日、1軒1軒の仮設住宅に祈りを込めて (釜石)



釜石 仮設住宅の支援

神様が望んで地震を起こしたんじゃないって事は知っていました。

でも、、、なんで？なんで？なんで？ってずっと思っていました。

いまでもなぜ神様がこの事を許したのかは分かりません。でも僕にはいくつか分かった事がありました。

それは神様はこの事も益に変えて下さって、何か計画があるという事が分かりました。なぜならボランティアや物資の支給をしつつ、東北の皆さんと交わっている中で、神様の話しが出来たり、凄い励まされたりしたからです。

そしてもう一つ。

僕が東北で聖書を読んでいる時、一つ目にとまった箇所がありました。

それは、弟子が神殿を見ているとイエス様がよってきて「この大きな建物を見ているのですか？ 石が崩れずに積まれたまま残る物は決してありません。(マルコ13:2)」

この世の物で最後まで残る物って本当にないんだって僕は思いました。

だから僕が今、この世の物で神様に「手放せ」って言われた物を手放そうと思いました。そして同時に僕は今何を一番にしているだろうか、と思いました。残念ながら、神様をいつも一番に出来ていません。だから僕は「出来るだけ神様を一番にしたい！！いやするしかない！！」って思

いました。

そしてもう一個。

神様に守られた事がありました。

それは南三陸町での出来事なんです
が、僕ががれきの上を歩いているとな
にかがささった感触がしました。そし
て靴を見てみるとなんと釘の先
が！？！？！？

ボランティアに行く前の説明会で破傷
風の話しを聞いていました。ボラン
ティア活動用に、全員に鉄入りの中敷き
が手渡され、いつもは、それを着用し
ていたのですが、南三陸では、その長
靴を脱いでいて、運動靴で歩いてしま
いました。

もしや刺さった？？？と思ったんで
すが、ぎりぎり人差し指と親指の間を
突き抜けていました。たまたまかも知
れませんが、ぼくは神様が守ってくれ
たと思いました。

「見よ。わたしは新しい事をする。今、もうそれが起ころう
といている。あなた方はそれを知らないのか。確かに、わ
たしは荒野に道を、荒地に川を設ける。(イザヤ43:19)」

もっともっと話したい事はたくさんあるんですが、これ
ぐらいで。

C君 (13)



全壊した浜の復旧を目指して。瓦は重いけど、1枚ずつ祈りを込めて！



がれき処理も慣れてきた！
(牡鹿半島・侍浜にて)

僕は、今回東北ボランティアに行くことが出来て、本当
に良かったと思います。良かった点は「楽しかった」とい
うのもありましたが、ほんの少し被災者の気持ちが分かっ
た気がしたからです。本当に素晴らしい経験でした。いつ
か東北ボランティアには行きたいと思っていたので、話を
聞いた時に「これはチャンスだ！」と思い、参加させて頂
きました。

ボランティアの説明会では、テーマである聖書箇所が与
えられました。偶然にもその聖書箇所は、僕の名前の由来
箇所でした。「喜ぶ者といっしょによこび、泣く者といっ
しょに泣きなさい」(ローマ12:15) これを聞いた時、「な
んか神様が僕に語っているのかなぁ」なんて思ったりしま
した。そんな感じで出発しました。

被災地では正直なところ、「自分が行ってもそんなにやる
こと無いんじゃないかな…」なんて勝手に思っていました
が、兄から聞いた通り、たくさんの仕事(奉仕)があり、思っ
たより大変なところもありましたが、その方が、やりがい
があって「神様のために奉仕をしている」という嬉しい気
持ちになりました。それなので全く苦にはならなかったで
す。

3日目には、被災者の気持ちをよく知るために、南三陸町
に行きました。蒸気機関車が倒れていたり、家が流された
跡が微かに残っていたり、車が潰れていたりして、とても
憂鬱な気持ちになり、しばらく無言で見っていました。
神様が何故このようなことをしたのかは分からないけど、
「これも神様が赦されたことで、計画の一部なんだ」という
ことを心に留め、今後自分は、何をしたらいいのかを考え
てみたいと思います。次回も機会があったら参加したいで
す。

Dさん (16)
「第4回チア東北サポートに参加して」

第4回目のチアのボランティアは、私にとって2度目の

参加でした。一度参加したので2回目に行けるかどうか分からなかったのですが、神様はまた私を遣わして下さいました。

初めてのボランティアに参加した後、次のみことばが何度も示されました。「人に見せるために人前で善行をしないように気をつけなさい。」(マタイ6:1) 私は前回のボランティアに参加した時に周りの人から良く思われたいがゆえにってしまったことがあると気付かされ、悔い改めました。日々偽善をしていないかと祈りの中でのボランティアへの参加でした。

作業日1日目は仮設住宅への物資の仕分けをしました。6月の東北といっても日差しが暑く、熱射病が心配されるほどでした。支援物資を約70世帯へ仕分けする作業は簡単ではありませんでした。重い荷物を軒先へ運び、70世帯に均等に物資を配ることが大変でした。でも被災者の方とお話が出来たことが嬉しかったです。今回のボランティアは前回と比べてちょっとしたことですが被災者の方々とお話ができたことが感謝でした。

作業日2日目は侍浜という所で、支援物資配給と瓦礫撤去作業とヘドロ掃除をしました。その場所はマスコミが来たことがないので、ボランティアが来るのも私たちが初めてだったそうです。今回は支援物資に洋服が加わったので私は洋服を畳む作業をたくさんしました。私はせっかくボランティアに来たのだから、ヘドロ掃除などそれらしいことをしたいと心の中で思っていました。その時に、「小さい事に忠実な人は、大きい事にも忠実であり、小さい事に不忠実な人は、大きい事にも不忠実です。」(ルカ16:10)のみことばが示されて、忠実に洋服を畳んでいこうと思えるようになりました。侍浜の漁師さんは工場が流されてしまい、後3年は仕事が出来ないそうです。その悲しみの中にある漁師さんが「久しぶりにたくさんの子供たちに会って、こうやってボランティアをしている姿を見たら元気が出ました。」とおっしゃっていたそうです。まさに神様はこの震災を通してキリストの愛を伝える機会を与えて下さったのだと思いました。「あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。」(マタイ5:16) 今回も様々な形の“仕える”ということを教えられました。私のしたことは本当に小さなことに過ぎないのですが、力を尽くして心から仕えていこうとする時に神様が力を与えて下さり、私の力を超えた働きとして実を結んで下さるのだと思いました。

ボランティア3日目には、南三陸町の志津川中学校の近くの高台から津波の被害を受けた一帯を眺めました。大津波警報後この高台に上ってきて、自分の住んでいた家や場所が大きな津波にのみこまれたのを見た方は、どんな気持ちだったのだらうと思いました。「主は、ある人たちがおそいと思っているよ

うに、その約束(再臨)のことを遅らせておられるのではありません。かえて、あなたがたに対して忍耐深くあられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず、すべてのひとが悔い改めに進むことを望んでおられるのです。」(ペテロ3:9) これからも祈り続けようと思いました。

E君 (14)

被災地に行って

僕は、6月に3泊4日で釜石市や牡鹿半島の浜辺のボランティアへ行ってきた。瓦礫撤去や仮設住宅への生活用品の配給などを手伝い、少しでも被災地の方々の力になればと、チアのみさんと働くことができた。

僕は、今回のボランティアで教えられたことが2つある。

一つ目は、人間の傲慢への神様の警告であり、二つ目は、神様からの悔い改めへの招きである。

日本という国には、イエス様の福音よりも前に仏教が伝えられ、また天皇を崇める神道も昔から形成されている。人々は、あちらこちらに神社や寺を建て、偶像に仕えてきた。

神様はこのような日本全体に、3月11日に警告を発信された



これ、アメリカからの手紙とタオル、入ってるんです。(釜石・浜町にて)



「震災後、お父さん、お母さん、親しい友人と天に召されていきました。思い切ってボランティアに来ました！」

のだと思う。もちろん、東北の人々が、ほかの地域の人々より、罪深いから裁かれたということではない。すべての日本人を愛する神様ゆえに、地震と津波というかたちによって、尊く悲しい犠牲の痛みも許されながら、日本全体に警告された。

私が特に津波の恐ろしさを感じた所は、岩手の南三陸町であった。津波が襲う前は家々が立ち並び、人々は普通の生活を営んでいたが、たった数秒の地震があった後では、まるで原爆が投下されたような、荒れた殺風景な光景となってしまった。人の頼るすべての物やお金、車、仏像、などは、この神様の偉大さの前にちりのように役に立たなくなった。

この震災を通して、今はまだ、イエス様の福音を信じておられない方々に、神様は悔い改めの道を開いている。また、私たちクリスチャンには、福音宣教という使命を早急に行う必要があり、伝えられる期限が迫っているよ、という警告が神様から与えられたのだと思う。

僕は、友だちやまわりの人たちにこの福音を伝えたいと思った。また機会があったら、これらのことを覚えながら、被災地で神様の愛をあらわしたい。

Fさん

今回は本当にお世話になりました。体力的に心配していましたが、守られ感謝でした。

草の根的なボランティアの働きに参加させていただき、実際に被災された方々の大変さ、つらさが現実のものとして迫ってきました。物資と労働と両面からサポートしている、この働きは尊いことだと思います。

一番素晴らしいと感じたのは、リーダーの稲葉さんの決断に皆さんが合わせていくことで、すごい働きができていくことです。絆の深さを感じました。一致するとき、神様

の愛を世の人は見るのですね。

ますますチアの東北サポートを通して、神様の愛が人々に押し流されていきますように

お祈りしています。

息子も教会で、みんなにレポートを報告し、被災された方々がどんなに困っているか、また福音を伝えていくことの大切さを教えられたことなど、シェアしてくれました。本人は今回の地震の後、すぐに助けに行きたいと言いつけていましたので、本当に今回は参加でき心から喜んでいました。”仕えるために行った”そうです。

神様は、ボランティアに行く前に、息子を準備し、訓練させ、連れていってくれたのかなとも思いました。息子はおばあちゃんと暮らして、認知症のため1秒前のことも覚えていない、何もできない年をとった人の姿に、すごく愕然としたのです。”人間で、こんなになににもできなくなってしまうんだ...”それで、これからの人生は、動けるうちに少しでもイエス様の

のことを伝えたい！若いときから伝えないと時間がもったいない！といったことをよく言うようになりました。”時”がとても大事だということを、身をもって体験したのです。

そして、同時になににもできないおばあちゃんから受ける慰めや充足感が自分を満たしてくれることも体験できたのです。介護と同時にホームスクーリングが始まりどっちの必要も満たしていないジレンマに悩む毎日でしたが、振り返ると、神様は、何にも代えがたい祝福で満たしてくださいました。主に感謝します。



第1回 チア・オリンピック アンケート Part1

・とても楽しく充実した1日でした。その後、我が家では体力作りのモチベーションがupしています。

挑戦した子どもたちが大きな記録を次々に出すのを（ソフトボール投げ70m台etc…）我が家の子どもたちが直接その目で見ることで良かったです。

マートン選手からの応援メッセージは驚き、感動しました。チア・オリンピックに向けてクリスチャンプロ選手からのメッセージはジャストタイミングで励まされました。ぜひ続けて下さい。

スタッフの皆さんいつもありがとうございます。フットワークが最後まで軽くてすごいと思いました。第6回東北サポート、白馬セミナー…。チアの働きを覚えお祈りしております。（神奈川 高倉正・幸子）

・初企画ながら、とても楽しく、有意義な1日でした。膝が悪く、ボランティアスタッフとしての参加でしたが、みんながイキイキと走ったりプレーしたりする顔を見て、共に喜びを分けていただきました。来年は体を鍛えて参加したいと思います。

幼児の25メートル走がかわいかったです！ 贅沢なロケーションの競技場で出来たことがとても良かったと思います。（匿名）

・とても楽しかった。1500m走や100m走など普段あまりタイムを計測することがなかったのでとても良かったです。

次回は全部の競技に参加したいです。あと、新しい目標がこの機会を通して与えられたことが、今回来られた恵みです。（匿名）

・親子共々とても楽しく過ごさせていただきました。事前トレーニングなしで参加してしまったので、後半は既に体中がガタピシいい出しておりました（←母のみ）。天候も守られ秋空の下、感謝な1日を過ごさせていただき、ありがとうございました。

特にチーム別リレーと50m走では思いきり走ることができて最高だった！（子ども談）

玉入れ等懐かしい競技に嬉しくなっていました。活力あふれる若者・可愛いチビっ子から肉離れ寸前の私たち大人まで色々な世代の人が競技に没頭できたところが良かったです。

現在のところ諸事情があり、我が家ではホームスクーリングは難しい状況にありますが、ホームスクーラーの方々の姿勢、信仰にいつも学ばされ刺激を受けています。この世とは一線を引く聖書に立った生き方を実践できる者でありたいですし、子どもたちはそのように成長して欲しいと切に願います。（匿名）

・最高でした！ 初の試みにもかかわらず、本場さながらのオリンピックを家族で体験させていただき、



感動致しました。あれだけの規模のモノを準備されたスタッフの方々のご苦労と多くの働きをされたボランティアの方々に感謝します。普段、ホームスクーリングをしている我が子の身体能力や運動神経など、客観的にタイムなど測っていただき、課題や、また今後の体育面での展望等、たくさん参考にさせていただきます！ 多くの兄弟姉妹と、深く、そして楽しい出会いが神さまから与えられました。本当に素晴らしい時をありがとうございました。（神奈川 明井淳子）

・大変良かったです。景色の良い会場でみんながひとつとなつてスポーツを楽しめて感謝です。マートン選手のメッセージにも励まされました。（埼玉 市川晶子）

・いつもお世話になり感謝します。今回のチア・オリンピックでは親子共々本当に祝福の時を与えられ主に感謝します。ホームスクーラーは運動面が課題だねと皆さんと日頃話していましたが、チア・オリンピックではそんな思いを吹き飛ばしてくれる程、子どもたちがいい表情でいい汗かいてたので感謝でした。（匿名）

・今回のチア・オリンピックの楽しさ、感動は予想外のものでした。まさか高校卒業後30年たって、また100mを全力疾走することになるとは、考えもしていませんでした。どうなるかと思いましたが、それが、驚くほど気持ちよかったです。ゴールの向こ

うで「最後までがんばれー！」という叫びを聞いたとき、たかが100m走だったのに、ものすごく感動しました。

若い頃はスポーツをやっていましたが、それはキリストに従う歩みの外でのことでしたので、聖書に書かれている「神の栄冠をえるために、目標を目指して一心に走る」「賞を得るように走りなさい」、「私たちの前に置かれた競争を忍耐を持って走り続ける」…これらのみ言葉の言っていることを体感したのは、今回が初めてかもしれません。それは今まで経験したものとは、まったく違う、新しいものでした。

特に、最も力のある10代20代だけでなく、10代以下の子どもたちも、30代から50代(?)の方たちまでもが一緒になって走ったあの1500m走、その全力で競技に臨む姿は、涙が出るほど感動的なものでした。このようなお父さん、お母さんの姿を見ることのできる子どもたち、なんと幸せなことかと思ったことです。

競技に参加しても、競技を見ていても、とにかく感動しました。

そして私は、すでに来年に向けて準備するため、何年もやめていた腹筋背筋、ストレッチを始めています(来年は苦手な長距離(1500m)を一番最後にゴールであったとしても、私の持てる全力で走り抜きたい!との思いです)。

本当に深くすばらしいものがここにありましたので、そのことをたくさんのかたがたに見て、知って、味わっていただきたい、そう思った1日です。(チア・スタッフ 能登麻里)

・子どもたちもチア・オリンピックをととても楽しみにしていましたが、天気予報は雨で、家族で祈っていました。当日は主が祈りに答えてくださり、とてもよい天気で感謝でした。親子で思う存分体を動かし、楽しむことができました。団体優勝までいただき、子どもたちも大喜びでした。

家族ぐるみで競技に参加できたのがとても良かったです。帰ってからもその話題で家族で盛り上がりました。父親が、遅いながらも最後まで走り抜く姿

を示すことができたかな(?)と思います。きちんと記録をとっていただいたので、とても励みになり、子どもたちにも自信になったようです。

あれだけの大人数での綱引きもとても楽しかったです。普段、息子は個人競技(レスリング)をやっているのですが、団体競技のおもしろさも体験しました。(千葉 後平一)

・とても恵まれました。久しぶりにホームスクーラーの皆さんとお会いして、しかも初めて皆さんがスポーツをしている姿を見たのでとても新鮮でした。

日ごろ運動をしていなかったのに、親子で体中が痛くなってしまいましたがとてもよい汗をかきました。天気も完璧でした。素晴らしい神さまの御名を褒めたたえます。特に良かった点は、集まって競技したり、本格的にタイムを計ったりする機会が欲しかったので、今回両方が叶った点です。

このような企画を待っていましたので本当に感謝です。御準備等お疲れさまでした。いつも私たちの必要を満たして下さい本当にありがとうございます。心から感謝いたします。これからもよろしくお願い致します。(東京 ビショップ 倅子)

《子どもアンケート》

・チア・オリンピックでは、団体で1位になったこと、しょうがいぶつきょうそうで1位になったこと、50mきょうそうで3位になったことがとてもうれしかった。ソフトボール投げでも27m50もとばせてうれしかった。あと、みんなとあそんだことも楽しかった。(後平広 8歳)

・リレーが楽しかったです。応援も燃えました！(高倉光希 8歳)

・大玉転がしがまたやりたいです。(高倉琴泉 5歳)

・本格的なトラックで走り、幅跳びも始めて体験しました。思い切りできて、全部とても楽しかったです。(高倉明梨 11歳)



試写会受付中！

「ファイアー・ストーム」「フェイスング・ザ・ジャイアント」に並行して、新作「アメイジング・グレイス」の「試写会&DVD販売会」の扉開かれました！ 受付スタート!!

＊「アメイジング・グレイス」はまだ、映画館で有料上映中の地域があります。それで、スケジュール調整が必要な場合もあります。でも、積極的にお申込み＆トライください。

100週連続1位（アメリカ・クリスチャン書店）

映画関連本「ファイアー・ストーム 決断する愛ー夫婦の危機を救う40日プラン」
SONYピクチャーズとチアとのコラボレーション！

＜今年上映した教会よりアップデートシリーズ
NO21：神戸西バプテスト教会
「ファイアー・ストーム」＞

・一度、結婚に失敗した者です。そして、今は再婚しています。自分の力だけで何とかして乗り越えようとするほど、行き詰まってしまいますが、新しくこの道を備えてくださった主に委ね、また離婚した事実を共に背負っていただく主、主人に、子どもに支えられて歩いていきたいと思えます。今の主人に対して取っている私の態度では、また失敗してしまう。心を本当に改めていきたいと思えます。(40代 女性)

・映画を見て、自分自身について考えさせられました。自分を見つめ直し、思いやりの心を持って、また耐える事、認め合う事。(40代 男性)

・夫婦で一緒に観れて良かったです。より良い人間関係のために、いいヒントがたくさんありました。(50代 女性)

・最初の方は見ていて、つらくなりましたが、二人が変わっていく様子を見ていて、とても勇気を与えられました。(40代 女性)

・40日プログラムを頑張っているキャサリンのご主人さんが、とても格好良かったです。あんなに自分の気持ちを押しつけて、愛する気持ちを忘れ、大切に守れない人だったけど、優しさや愛情を持った素敵な人になったから、私もご主人みたいにとても温かくてピュアな心の人になりたいです。とても温もりがある映画でした。(女性)

・気難しい女性だと思いましたが、牧師の説明をお聞きして、女性の苦しさを理解しました。主に赦されているという事を、これからも日々祈ります。ご両親の息子さんに対する愛、主の愛を伝える事の大切さを見ました。悲しい事ですが、自分の非を見る事の難しさ、これからの一生の課題です。(男性)

・現実的にありそうな話で、よくわかりました。主を信じ、夫婦間に主が入れば、わかりあえるんだと思いました。相手を思いやる心が本当に必要ですね。いい映画だったと思います。(30代 女性)

・とても良かった。人間関係を良くするためには自分が変わることが必要であることがよく判った。(60代 男性)

たくさんのお申し込み、ありがとうございます。小規模で大歓迎ですので、ぜひ、お申し込みください！ DVDは、ご家庭等、個人的な場所での視聴以外、無許可で集会、教会等における上映会は、禁止されています。でも、「ファイアー・ストーム」「フェイスング・ザ・ジャイアント」「アメイジング・グレイス」については、チア・にっぽんが正式な窓口となって、ソニー・ピクチャーズ社、ハビネットに申請する道が開かれました。「上映&DVD販売会」という名目で許可を得る方法です。主に祝福された素晴らしい機会となると確信しています。

まずは資料をご請求ください。既に実施済みの教会、団体からは多くの感動と祝福のレポートが多数、寄せられています。皆さんの教会でも、3作品からの大いなる福音伝道の業が、広がっていくことを心から祈らせていただきます。詳細・問い合わせはチア・にっぽんまで（Eメール：kuwatani@cheajapan.com FAX03-6862-8648）。申し込み詳細は、HPでもチェックできます。www.cheajapan.com。お申し込みをお待ちしています！

試写会 「ファイアー・ストーム」「フェイスング」「アメイジング」

感動の声、続々！ 開催してみませんか？

(無料！少人数OK！) お申込みはチャまで！

<今後の予定>

「ファイアー・ストーム」

■11月6日(日) 山形 米沢興譲教会

「アメイジング・グレイス」

■11月18日(金) 長野 白馬セミナー

■12月4日(日) 大阪 JECヒルズチャーチ

■12月5日(月) 神奈川 主都福音キリスト教会

<開催いただいた教会・団体>

「ファイアー・ストーム」

- 仙台 チア・サマーキャンプ
- 長野 チア・白馬セミナー
- 千葉 おゆみ野教会
- 東京 久我山キリスト教会
- 東京 福生ベテル教会
- 東京 日野キリスト教会
- 埼玉 ベテル・バプテスト教会
- 静岡 第45回教役者大会(ヤマハリゾート)
- 東京 武蔵野EFC教会
- 静岡 キャンパス・クルセード(ヤマハリゾート)
- 東京 クロスロード・インターナショナル葛西教会
- 滋賀 ジーザス・ハウス守山教会
- 埼玉 ANRCセミナー(ヘリテージ・リゾート)
- 札幌 ICF教会
- 石川 小松ベタニヤ福音教会
- 滋賀 東近江キリスト福音教会
- 静岡 VIP浜松
- 愛知 名古屋グロリアスチャペル
- 茨城 水戸第一聖書バプテスト教会
- 岡山 西大寺キリスト教会
- 北海道 札幌キリスト福音館
- 北海道 札幌キリスト福音館栗沢チャペル
- 千葉 千葉グレイスチャーチ
- 神奈川 横須賀キリスト教会
- チア・コンベンション(関西・東京)
- 岐阜 海津キリスト教会
- 神奈川 青葉台ナザレン教会
- 東京 東京ライトハウスチャーチ
- 大阪 阿倍野キリスト教会
- フォースクエア教団(年次総会)
- 愛知 名古屋グロリアスチャペル(2回目)
- 熊本 有明バイブルチャーチ
- 大阪 JECヒルズチャーチ
- 岐阜 海津キリスト教会(2回目)
- 埼玉 JEA心のオアシスリトリート
- 埼玉 KFG志木キリスト教会
- 神奈川 City Vision Glory Church
- 福井 敦賀自由キリスト教会

- 東京 東京シティチャーチ
- 静岡 インマヌエル綜合伝道団浜松キリスト教会
- 東京 インマヌエル中目黒教会
- 東京 シオン・キリスト教団 蒲田教会
- 宮城 仙台福音自由教会
- 埼玉 Shalom Community Church
- 福岡 博多ニューライフ教会
- 岩手 RIM キャンプ
- 北海道 芽室キリスト教会
- 大阪 大阪クリスチャンセンター
- 福井 敦賀自由キリスト教会
- 宮城 仙台福音自由教会(2回目)
- 群馬 桐生キリスト教会
- 兵庫 神戸中央教会
- 東京 太平洋放送協会
- 千葉 主イエス・キリスト千葉教会
- 東京 久我山キリスト教会
- 東京 調布バプテスト・テンプル
- 兵庫 広畑キリスト教会
- 兵庫 神戸西バプテスト教会
- 北海道 中札内初穂キリスト教会
- 大阪 寝屋川キリスト教会
- 神奈川 藤沢オリーブチャペル
- 兵庫 御影神愛キリスト教会
- 兵庫 伊丹聖書教会

「フェイスング・ザ・ジャイアント」

- 仙台 チア・サマーキャンプ
- 神奈川 Living Water Church
- 東京 日野キリスト教会
- 埼玉 ANRCセミナー(ヘリテージ・リゾート)
- FCMF(自由クリスチャン伝道団)
- 千葉 市原シャローム教会
- 青森 弘前キリスト教会
- 大阪 JECヒルズチャーチ
- 埼玉 KFG志木キリスト教会
- 神奈川 藤沢オリーブチャペル
- 静岡 インマヌエル綜合伝道団浜松キリスト教会
- 東京 調布バプテスト・テンプル

♪ ボイス&メール ♪ Voice & Mail

無事、9月23日に、3640グラムの大きな女の子を出産しました。娘の名前は、真理（まり）になりました。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。（ヨハネ14：6）」「わたしがこの世のものではないように、彼らもこの世のものではありません。真理によって彼らを聖め別ってください。あなたのみことばは真理です。（ヨハネ17：17）」この世にあって、みことばをしっかり握って真理の内を歩み続けてくれますように、願っています。（東京 伊澤聡一郎・恵美）



ご無沙汰しています。息子は、後期になりやっと大学のリズムがつかめてきました。

先日、大学の保護者会で教授と面談がありました。成績は、トップのようでびっくりしました。

「無遅刻・無欠席で10段階評価で私は10をめったに付けませんが、すばらしい」と。

授業でも必ず質問し、積極的だそうです（最初、数ヶ月は同級生とも話が合わず、悩んでいたのですが）。HSは、自発的に活動するところが、受身で授業を聞いて育った子と違うのかな？と思いました。

息子は、「僕は頭が良くないけど授業に食らいついて行く気持ちはある」と話しています。HSは、数字には現れない力を育まれているのかもしれないですね。時が来たら、自主的に自発的にできるんですね。

大学に行ってから一緒に聖書を開いて祈るのは土曜日くらいですが、毎日いろんなことの相談をしますし、特に主人からの助言をよく聞いてくれます。

夏に、息子は1日だけアウトドア用品の展示会の設営バイトに行きました。朝6時から夕方4時まででしたが、「LITをちょっと厳しくした感じ」だったそうです。

教師になるかどうかは未定ですが教職も取っていて、神様が少しずつ将来への道を開いてくださっているようです。（北海道 Aさん）

感謝の気持ちをシェアしたくてメールしてみました。

最近母が体調を崩し、病院に何度か行きました。病院についたものの、母は貧血で歩くことが困難だったので車椅子を使いました。父は20歳からの半身麻痺なので、歩行器を使っています。

そんな車椅子の母、歩行器の父を見て、僕がどんなにこの家族で重要な存在なのかを改めて知ることができました。もし今頃公立の高校で寮生活を送っていたら、僕は親も支えることができず、神さまから離れていたと思います。

しかし今こうして父と母を支えながらホームスクーリングできることが感謝でたまりません。

最初にHSを始めた頃は、周りの人から「あの人学校いってないんだって〜！」ってほめかされたりして、すごく自信がなかったし、自己憐憫に陥ったりしてましたが、そんな中、励ましを与えてくれたのがチア・マガジンでした。チア・マガジンを読むたびに、僕と同じ心境の人たちがいて、「へえ〜こういう人もいるんだ〜」、僕も頑張らなきゃなって思うようになりました。

母は今、大分回復してきましたが、まだ貧血の症状が残っているので、祈ってくださると嬉しいです。

これからもチアを通してたくさんの人がH.S、C.Sに導かれることを祈っています。（Bさん）

ニュースレター読ませて頂きました。東北へのボランティア、ありがとうございます。私たちは行ける状況にありませんが、お祈りしています。心ばかりですが、被災者の方々の必要のために使って下されば感謝です。（Cさん）

◆DVD「アメイジング・グレイス」感謝です。鳥取県の方では上映されないと知り、あきらめていたのですが、こういう形で見ることができ、祈りを聞いて下さった神様にとても感謝。チアの方にも感謝です。（Dさん）

◆DVD「アメイジング・グレイス」、素晴らしかったです。ありがとうございました。（Eさん）



GLEEM

第14回 (2012春)

5カ月ホームステイ in カナダ

God's Loving English Experience Ministry

カナダの雄大な大自然に囲まれながら英語を学習し、神様との関係も深められると好評のGLEEM留学プログラム。そのほか、スキー、スケート、ロッククライミングなど盛りだくさんのアクティビティや、クリスチャン教育も充実！ 地元カナダのクリスチャンスクールの生徒さんたちとも交流を持つことができ、さらなる英語の実力がつけられます！

第13回目秋のプログラムに参加中の中村光美さん、江原南さんから感想文が送られてきましたので、以下、ご紹介します。どうぞ、祝福をお祈りください。

詳細はチア・にっぽん事務局へ (TEL 042-318-1807、メール: kuwatani@cheajapan.com)。
お申込みはお早めに！

■ 次回の予定 <2012春のプログラム> 予定

出発: 2012月1月下旬 帰国: 7月初旬

中村 光美

カナダに来てから2ヶ月程経ちました。こちらに着いた次の日から5泊6日で「Camp Bob」に行くと聞いたのにはびっくりしましたが、通訳のMrs.Morton (美穂) さんのおかげもあり、とても楽しい、良い経験ができました。

学校でも頑張っています。韓国の生徒の子たちはすでにとっても仲が良いので、最初の頃は少し圧倒されてしまって、全く何もできませんでした。が、何週間か経った頃、ホストマザーのDotさんが「もっとアグレッシブになった方がいいよ」とアドバイしてくれたので、今までの自分の消極的さに衝撃を受け、「ああ、もっと頑張るべきだな」と思い、今ではできるだけ自分からアクティブに彼らに話しかけています。その結果、色々な話をすることができ、お互いの言葉を教え合ったり、どこかに出かけたりと、ずっとリラックスした状態になりました。

家での生活もとても楽しんでます。ホストファミリーのメインさん夫妻はとても素晴らしい人たちで、しっかり世話をしてくれて十分に英語で会話できているので、とても感謝しています。ルームメイトの江原南ちゃんとも、とても親しくなることができて本当に良かったと思っています。

また、神さまとの関係、人との関係についてもよく考えるようになりました。心配事やお願い事があると、日本にいた事よりも神さまを意識して、祈る時間が増えました。GLEEMは神さまとの関係を深め、聖書を学ぶのにとっても素敵なプログラムだと思います。

残りあと3ヶ月ありますが、1日1日を大切に過ごしたいと思っています。日本に帰る頃には英語もずっと上達し、多くのことを学んで色々な面で成長して帰って来たいです。

江原 南

お元気ですか？ 私は神さまとお祈りに守られて楽しく過ごしています。私はカナダで沢山の事を経験しました。

アクティビティはもちろん、日本語が通じないという中、いろいろな事も学びました。今までは友達を作るのに苦労する事は無かったけれど、韓国の子たちと、なかなか仲良くなる事ができなくて本当に焦りました。けれど、それによっていつもお祈りをしたり、神さまはディポーションやお祈りだけでなく、ホストマザーや日本からの手紙の中で、ヨハネ15:5を何度も何度も示されました。次第に、友情が芽生えてきました。

カナダの子は最初からとてもフレンドリーで話したり、遊んだりする中で、沢山英語も勉強できます。

ホストファミリーはととてもとても良い家族で、ルームメイトの光美ちゃんとも仲良く過ごすことができていて、すごく祝福されています。

いつもお祈り、ありがとうございます。残り3ヶ月も大切に沢山学んで帰りたいと思います。



11/7 チア・フットサル CLUBスタート!!



第6回チア東北サポートの帰りのバスの中で、長年の夢だった、フットサルチーム発足の話が急展開しました...

「(稲葉) チアにサッカーやりたいメンバーから、チームを紹介してほしいと相談してるんだけど...」

「(卓) 春からの夢。うーん、場所とかあれば、メンバーそろってるんだけど...」

「(サムエル) え、新宿の我が家のそばはどうでしょう？ 人工芝で、午前中なら、ほぼ確実に使えますが...」

「(稲葉・卓) それ、すごいいい！」

「(翼) うん。まずは、目標！ しっかり練習する。女子も、初心者もOK。チャーチスクールチームに試合を申し入れ、肩を並べるレベルになって...」

子どもたちの体力作りから、将来は対抗試合、リーグ試合への出場を目指します。初心者から上級者まで、どなたでも参加できます。練習コーチは、堀井翼（府中アスレティックFC ユース選手）が担当、フットサルの基本から指導します。

- 練習日 月曜日 午前10時～12時（変更になる場合があります。初めての方はお問い合わせください。）
- 参加費 無料 ※試合などに出場する場合、実費負担していただくことがあります。
- 場所 新宿 子ども総合センター（新宿ここ・から広場） 現地集合、現地解散
- 服装 トレーニングウェア、トレーニングシューズ（あればフットサルシューズ）
- 参加資格 中学生以上 下記の参加条件に同意することを条件とします。小学生の方は、保護者同伴。
- 持ち物 飲み物、着替え
- 食事 お弁当（練習後、食べるスペースがあります）
- ※禁止事項 練習後、友達同士でのレストラン、ショッピングに行くことを禁止します。練習で知り合った男女間のメール、携帯情報の交換を禁止します。その他、チアにっぽんのLIT、チアボランティアの規則に準じます。
- 責任者 チア・サポート・スクール 堀井卓
- 連絡先 チア・サポート・スクール TEL 03-5300-0820 e-mail : horiit@arkvillage.com
- ※現在ボランティアスタッフを募集しています。
- 募集 監督（フットサル、サッカー経験のある方）、コーチ・マネージャー（子どもたちのケアのできる方）

※以下の各項目に同意することを参加の条件とします。

- 1 すべての人に、明るく、感謝し、優しく、謙遜と尊敬をもった態度で接します。
- 2 事情により、活動を中止する場合がありますを同意します。
- 3 練習中、移動中の自分の行動の全ての責任は私自身にある事を認めます。この事は、親族等の承諾を得ています。また、私自身の病気やけが等の事故、交通事故、盗難ほか、不慮の事故、災難等に巻き込まれた場合、私や親族、第三者から主催者への補償の請求は致しません。
- 4 活動中は、全ての人々に愛と尊敬と忍耐と平等と節度をもって接します。
- 5 丁寧な言葉遣いを心がけます。不適切な内容の会話を避けます。
- 6 華美な服装、また、女性は肌を露出した服装、胸元がゆるく、しゃがむと胸元等が見える服装、また、男性は、礼を失した服装等を避けます。20代以下は、茶髪、ピアス、メイク等、男性は長髪（ポニーテール等）を、避けます。
- 7 チア・にっぽんの方針や指示に従います。主催者側から受けた注意、指導は積極的にとらえて、改善することに留意し、その後、主催者により、活動途中での帰宅を指示された時には、帰宅することに同意します。
- 8 個人のプライバシー保護はもちろん、活動中に知り得た情報は絶対に漏らしません。
- 9 男女交際に気をつけます。男女間のメール、携帯情報等の交換は、禁止します。



「第6回チア・東北サポーターの宅配トラクト日より（仙台・泉区にて）」

昨年から、「東京伝道体験デー」として、準備が進められてきた「東京伝道」チーム。足立区の32万世帯を伝道し終わり、現在、葛飾区の約20万世帯に、伝道しています。

毎週、ウィークデーは宅配トラクト、土曜日午後には、都内の駅前でのプラカード伝道を行っています。

減び行く日本の魂のために、宅配トラクト&聖句プラカード伝道に参加してみませんか。どなたでも大歓迎です。1時間でも参加できる方は、ぜひ、どうぞ！

東京路傍伝道

ウィークデーは、宅配トラクトを中心に行っています。こちらへのご参加も大歓迎です！ 1時間からでもOKです。こぞって参加ください！（事前にご連絡、よろしくお願いします。）

今後のスケジュール

- 1 1月：ウィークデーは伝道あり。土曜は無し（予定）。
- 1 2月：2日からスタート。日曜と31日を除く全日（予定）。
- クリスマス・年末年始伝道
：12月17日～1月5日（銀座、新宿、渋谷、原宿ほか）

■ 土曜：時間13:00～18:00

（お昼を済ませて来てください）。※毎月最終週は金曜日。

■ 宅配トラクトはウィークデーの10:00～17:00です（1時間参加でもOK!）



どなたでも大歓迎！ 当日の場所等の連絡先、また参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

TEL 090-1760-6573（古郡昌義(フルゴオリ・マサヨシ)さんまで）

TEL 090-8788-7008（岩佐十三男(イワサ・トミオ)さんまで）

e-mail: masayuki@sacra.com（田村正幸さん）

チア・にっぽん カレンダー

●チア・フットサル (CSS主催)

11月7日、14日、21日、28日 (月) 10:00-12:00

参加費無料

◆新宿子ども総合センター (新宿ここ・から広場)

◆連絡先: チア・サポートスクール TEL 03-5300-0820

●白馬セミナー ホテル・グリーンプラザ白馬 (長野)

11月17日 (木) -19日 (土)

主講師 エリザベス・スミス 弁護士夫人

●チアにっぽん関東ミニ学習会 (予定)

2月3日 (金) 10時30分~15時30分

◆国立オリンピック記念青少年総合センター

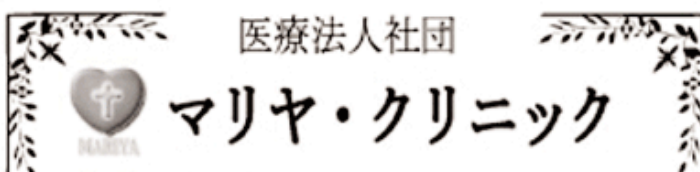
(代々木 小田急線参宮橋駅7分)

9月会計

収入	
献金	960,380
書籍・教科書	115,540
会費	125,000
DVD/CD、ビデオ等	72,578
その他	109,647
	1,383,145
支出	
事務局経費	1,086,287
通信運搬費	82,364
交通費	46,717
印刷費	223,455
DVD聖書プロジェクト	8,094
DVD仕入れ費	142,443
	1,589,360
残高	-206,215
前期繰越	122,349
翌期繰越	-83,866

【義捐金】(11月4日現在) 3,296,788円
残金 800,537円

☆尊い献金、会費、義捐金の送金を、
心から感謝いたします。



医療法人社団

マリア・クリニック

内科・小児科

〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台6-19-19 Myビル

Tel: (043) 287-2624 Fax: (043) 287-2610

URL: <http://mariyaclinic.com/>メール: info@mariyaclinic.com

携帯サイトQRコード



柏崎良子院長著

低血糖症と精神疾患治療の手引
第3版販売中

問い合わせ: 株式会社ヨーゼフ



株式会社

ヨーゼフ

一般社団法人

低血糖症治療の会

低血糖症治療体験集販売中

日本で初めて低血糖症治療患者の体験記を
まとめた一冊です。編集: 一般社団法人低血糖症治療の会
販売: 株式会社ヨーゼフ

Tel: (043) 207-6035

FAX: (043) 207-6036

メール: info@yozeph.comURL: <http://yozeph.com>

CheaJapan

チア・にっぽん事務局

〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103

TEL 042-318-1807

メール対応FAX 03-6862-8648

メール office@cheajapan.comwww.cheajapan.com